

目 次

I. 課題名	1
II. 実施機関及び担当者名	1
III. ねらい	1
IV. 方法	1
1. 漁港関係基礎情報のデータベース化の検討	1
(1)システム要件定義	2
(2)システム基本設計	2
(3)システム構築	2
(4)データ作成	2
(5)試行運用	2
(6)評価検討	3
V. 結果	3
1. 漁港関係基礎情報のデータベース化の検討	3
1-1 データベースシステムの要件定義	3
(1)運用方式の検討	3
(2)データベース化情報の整理	5
1-2 データベースシステムの基本設計	5
(1)プラットフォーム・アーキテクチャの検討	5
(2)システム機能の検討	6
(3)データ構造	7
1-3 データベースシステム構築	8
(1)システム構築内容	8
(2)システム操作マニュアルの作成	14
1-4 データベースシステムデータ作成	14
(1)既往調査データの収集	14
(2)作成データ	14
1-5 試行運用	14
(1)試行運用方法の検討	14
(2)試行運用の実施	15
(3)試行運用結果（アンケート）の集約	16
1-6 システムの評価	16
(1)現在の漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査における問題点	16
(2)現在の問題点に対する業務支援・業務効率化にかかるシステムの評価	17
(3)システムの問題点・改善要望点	18
VI. 今後の課題	20
1. 漁港関係基礎情報のデータベース化の検討	20
(1)試行運用版データベースの修正	20
(2)データベースの機能追加・機能改良の検討	20
(3)実用に向けての検討課題	22
資料編	
別紙－1 漁港港勢情報等のWEB利用による試行システム使用方法について	
別紙－2 漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試行運用へのアンケート調査について	
別紙－3 漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試行運用へのアンケート調査（回答結果）	

平成29年度水産基盤整備調査委託事業 漁港漁場分野における ICT 技術の活用検討調査

I. 課題名

平成29年度水産基盤整備調査委託事業 漁港漁場分野におけるICT技術の活用検討調査のうち、漁港関係基礎情報のデータベース化の検討

II. 実施機関及び担当者名

公益社団法人 全国漁港漁場協会

福田 亮
金刺 いづみ
見上 敏文
田中 輝未
小玉 篤
山崎 康平
藤田 和宏

III. ねらい

我が国のICT インフラは世界の主要24か国中総合評価で第1位（2009年8月総務省公表）でありながら、ICT 国際競争力は20位付近で低迷している状況です。ICT 利活用の遅れは社会の様々な分野（農林水産業、地方創生、観光、医療、教育、防災、サイバーセキュリティ等）でみられ、水産のインフラにおいては、セリ情報の電子化や海域の環境の把握、施設等の管理などで立ち遅れがみられている。

こうしたことから、我が国は「新たな情報通信技術戦略」（平成22年5月）を公表し、様々な施策を展開しているところである。水産庁においても、平成29年度を初年度とする漁港漁場整備長期計画の重点課題（①水産業の競争力強化と輸出促進、②豊かな生態系の創造と海域の生産力向上、③大規模自然災害に備えた対応力強化、④漁港ストックの最大限の活用と漁村のにぎわいの創出）の推進においては、ICT（情報通信技術）を効果的に活用し、水産基盤施設の整備や管理の高度化、合理化を図る必要があると考えている。

そこで本調査では、漁港漁場漁村の分野において、ICT 利活用を促進するため、例えば、これまで紙ベースや個別ファイルで管理されてきた基礎情報を電子化し、水産基盤施設情報の統一的な管理・共有化の可能性、またICT技術をどのように導入するべきか検討し、漁業や建設業の生産性の向上・利便性向上を図ることを目的とした。

IV. 方法

1. 漁港関係基礎情報のデータベース化の検討

定期的に調査・収集・更新が行われる漁港港勢や背後集落情報などの情報を対象にした入出力・閲覧システムを構築する。また、各々の情報に関する10地区以上のデータを入力し、試行運用によってシステムの性能や利便性、利用にあたっての方策と普及方法について検討し、入出力・閲覧システムの導入ガイドラインを作成する。

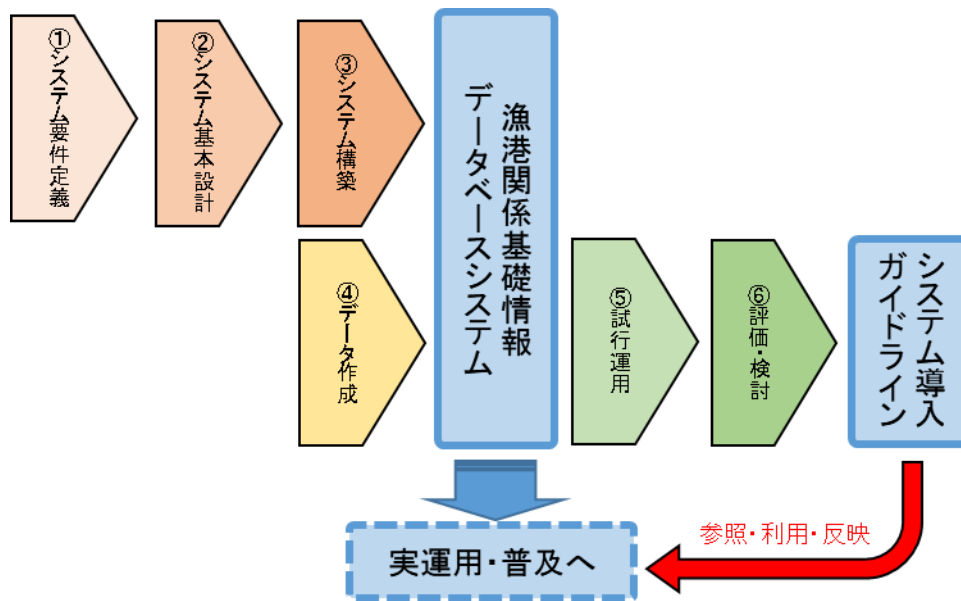


図 d-2-1 漁港関係基礎情報データベースシステム構築実施方針

(1) システム要件定義

漁港港勢情報、漁村背後集落情報について毎年実施している調査について、調査関係者（水産庁、都道府県、市町村担当者）間でのデータ共有を可能とすることを目的とし、データベース化の対象とする情報を整理し、システム要件および運用方法について検討する。その検討結果を踏まえ、システム構築を行う。

また、システムは、ユーザが使いやすく付加価値の高いシステムとして運用するための利用継続性及び共有したデータベースをビッグデータとして活用する等の拡張性への対応可能なように、アップデートを行いやすいシステムとするよう工夫する。

(2) システム基本設計

システム要件定義内容を元に、システムの基本設計として、システム方式設計（プラットフォーム、ソフトウェア・アーキテクチャ等）の後、機能設計（機能一覧、データベース定義、入出力仕様等）について設計・決定を行う。

また、システム運用に必要となる性能、セキュリティ対策についても検討する。

(3) システム構築

基本設計内容を元に、それを実現する詳細設計とコーディングを実施し、システム構築を実施する。各開発フェーズにおいては、単体テスト・結合テスト・総合テスト等のシステムテストを適切に実施する。

(4) データ作成

既往漁港関係基礎情報として、漁港港勢情報及び漁村背後集落情報について資料の収集及びデータ整理を実施し、作成したデータを構築したシステムに入力し、利用可能とする。

(5) 試行運用

データを入力したシステムを用いて、試行運用を実施する。試行運用の対象は、水産庁、都道府県、市町村の各担当者とする。

(6) 評価検討

試行運用の対象者にアンケート調査を行いシステムについての意見を集約し、システムの機能・性能・利便性について評価するとともに、システムの課題と今後の運用方針を検討する。検討結果は、「システムの導入ガイドライン」として取りまとめる。

V. 結果

1. 漁港関係基礎情報のデータベース化の検討

1-1. データベースシステムの要件定義

データベースシステム構築に当り、システムの要件定義を実施した。

(1) 運用方式の検討

システムの運用方式として、以下の3方式案について、検討・比較を行った。

① スタンドアロン型

システムをパソコン単体で運用可能とし、ネットワーク接続を必要としない方式。データはパソコン内または接続したハードディスク内に保存する。

- ・長所：システム構築がしやすい。大容量データを扱う時のコストが低い。
- ・短所：地図機能が必要な場合ライセンス費用が端末台数毎に発生する。データはインポート・エクスポートにより相互にやり取りしなくては同期が取れない。システム拡張性・保守性が低い。

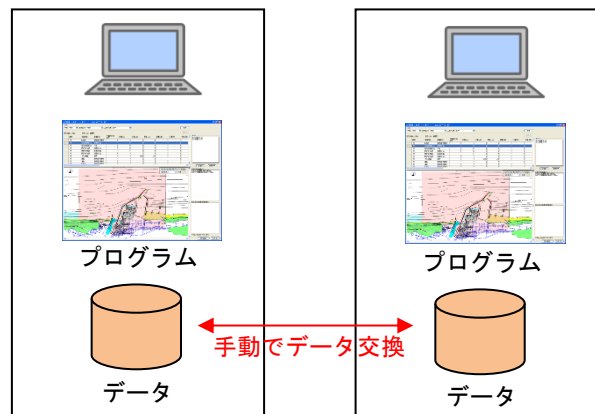


図 e-2-1-1 データベースシステム方式の検討 ①スタンドアロン型

② ファイル共有型

①のスタンドアロン型を拡張し、システムはパソコン単体で運用するが、データ・ファイルは相互に参照ができる場所として、LANまたはWAN上のファイルサーバやNAS等に管理する。

・長所：ファイルの同期はシステムにより行われるため、システム全体でのストレージ容量が減少できる他、データが一元化できるため、データのバックアップも容易になる。また、データベースサーバを併用した場合、ユーザによるサーバ上のデータ更新も可能になるので、データの即時性を向上し、データ同期に関わる利用者の作業を削減できる。

・短所：ファイルサーバ・NASの環境（設置費用、ランニングコスト、メンテナンス費用、管理人件費等）についての検討課題が多い。また、LANを越えてのデータ参照

は、セキュリティにより制限が設けられている可能性が高い。データベースを併用する場合、データベースクライアントライセンスについてユーザ数分コストが発生する。地図機能が必要な場合ライセンス費用が端末台数毎に発生する。

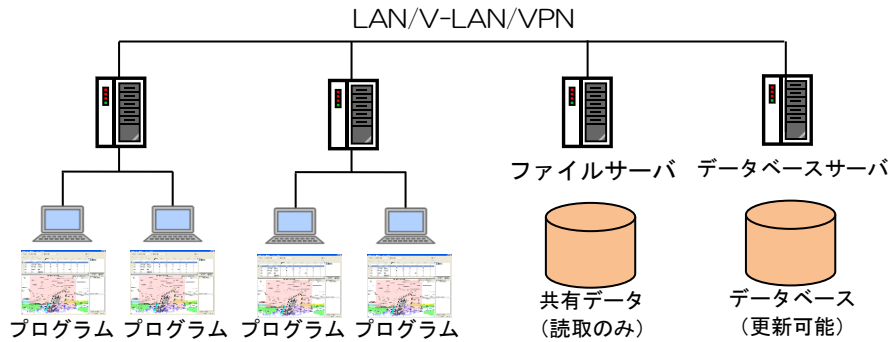


図 e-2-1-2 データベースシステム方式の検討 ②ファイル共有型

③ Webクラウド型

インターネット／クラウド上に、Webサーバ及びデータベースサーバを設置する。ユーザは各端末からWebブラウザを用いてWebアプリケーションとしてシステムを利用する。

- ・長所：システムはWebサーバ上で動作するのでシステムの更新を端末ごとに行う必要がない。また地図ライセンスも端末台数毎には不要となる。ファイル・データは全て一元管理できる他、遠隔地にリアルタイムでバックアップを行い、災害時への回復措置（ディザスタリカバリ）を行うことも可能となる。

- ・短所：Webサーバ及びデータベースサーバの環境（設置費用、ランニングコスト、メンテナンス費用、管理人件費等）についての検討課題が多い。また、システム構築費用は①、②の方式に比較して高い。またシステム利用には一定以上の速度でのインターネット回線接続が必要な他、各ネットワーク環境でのセキュリティポリシーにより、システムにアクセスできない場合、ネットワーク管理者によりシステムを利用可能になるための作業が発生する可能性がある。

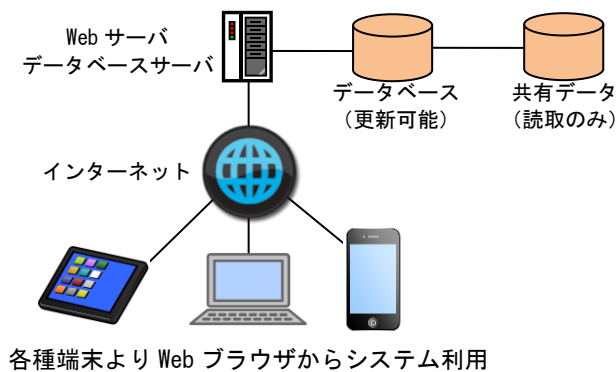


図 e-2-1-3 データベースシステム方式の検討 ③Webクラウド型

比較・検討の結果、調査における入力側（都道府県、市町村担当者）と集計側（水産庁担当者）でのデータ共有が最も簡便に行なえ、集約したデータを用いた集計・分析作業等の拡張性にも優れたWebクラウド型をデータベースシステムの方式として採用することに決定した。

(2) データベース化情報の整理

データベース化対象情報とその内容、及び、調査の実施状況（調査依頼、データ入力、データの送受信、データ確認等）を整理するため、以下の情報を収集した。

- ① 漁港港勢の概要（平成25年）
- ② 漁港港勢の概要（平成26年）
- ③ 漁港の港勢調査実施要領（平成28年度）
- ④ 漁港背後集落の現状把握のための実態調査について（平成27年度）
- ⑤ 漁港背後集落の現状把握のための実態調査（平成27年度）都道府県別調査結果
- ⑥ 漁港背後集落の現状把握のための実態調査 調査要領（平成28年度）

1-2. データベースシステムの基本設計

要件定義に基づき、基本設計を実施した。

(1) プラットフォーム・アーキテクチャの検討

プラットフォーム・アーキテクチャについて、要件定義にてシステム方式をWebクラウド型としたことにより、サーバサイド/クライアントサイドでそれぞれ検討を実施した。

① サーバサイドプラットフォーム

サーバサイドプラットフォームは、OSをGUIが汎用的に使用されているWindows OSに近く運用担当者が高度なスキルを有していない場合にも操作しやすいことを考慮しWindows Serverとし、Webサーバは同OSの標準WebサーバサービスであるIIS（Microsoft Internet Information Services）とした。

また、データベースには、導入コストが低くライセンス基準が緩やかなオープンソースソフトウェアであり、豊富なSQL機能とデータベース管理ツールが提供されているからWebサービスで汎用的に使用されているPostgreSQLを採用した。

表 e-2-2-1 サーバサイドプラットフォーム

No	項目	内容
1	OS	Windows Server 2008R2 Standard SP1
2	Webサーバ	Microsoft Internet Information Services 7.5
3	データベース	PostgreSQL 9.3

② クライアントサイドプラットフォーム

クライアントサイドプラットフォームは、官公庁での業務端末の利用状況を考慮し、動作環境OSを、Windows7、Windows8.X、Windows10とした。また、システムを動作させるWebブラウザは、動作環境OSの標準ブラウザであるMicrosoft Internet Explorer、Microsoft Edgeの他、将来的なモバイル環境からのアクセス対応も視野にGoogle Chromeでも動作を確認することとした。

表 e-2-2-2 クライアントサイドプラットフォーム

No	項目	内容
1	OS	Windows7、Windows8.X、Windows10
2	Webブラウザ	Microsoft Internet Explorer Microsoft Edge Google Chrome

(2) システム機能の検討

漁港港勢情報調査と漁港背後集落情報調査について整理したデータベース化対象情報と調査実施状況より、現況の調査プロセスのシステム化に必要な機能と作業の効率化・高度化およびデータの見える化に寄与する機能を検討し、以下の機能を実装することを決定した。

- ・ 共通機能
 - ① ログイン機能
 - ② 対象調査選択メニュー機能
- ・ 調査毎機能
 - ③ データ選択機能
 - ④ データ表示機能
 - ⑤ データ入力機能
 - ⑥ データエラーチェック機能
 - ⑦ 入力状況確認機能

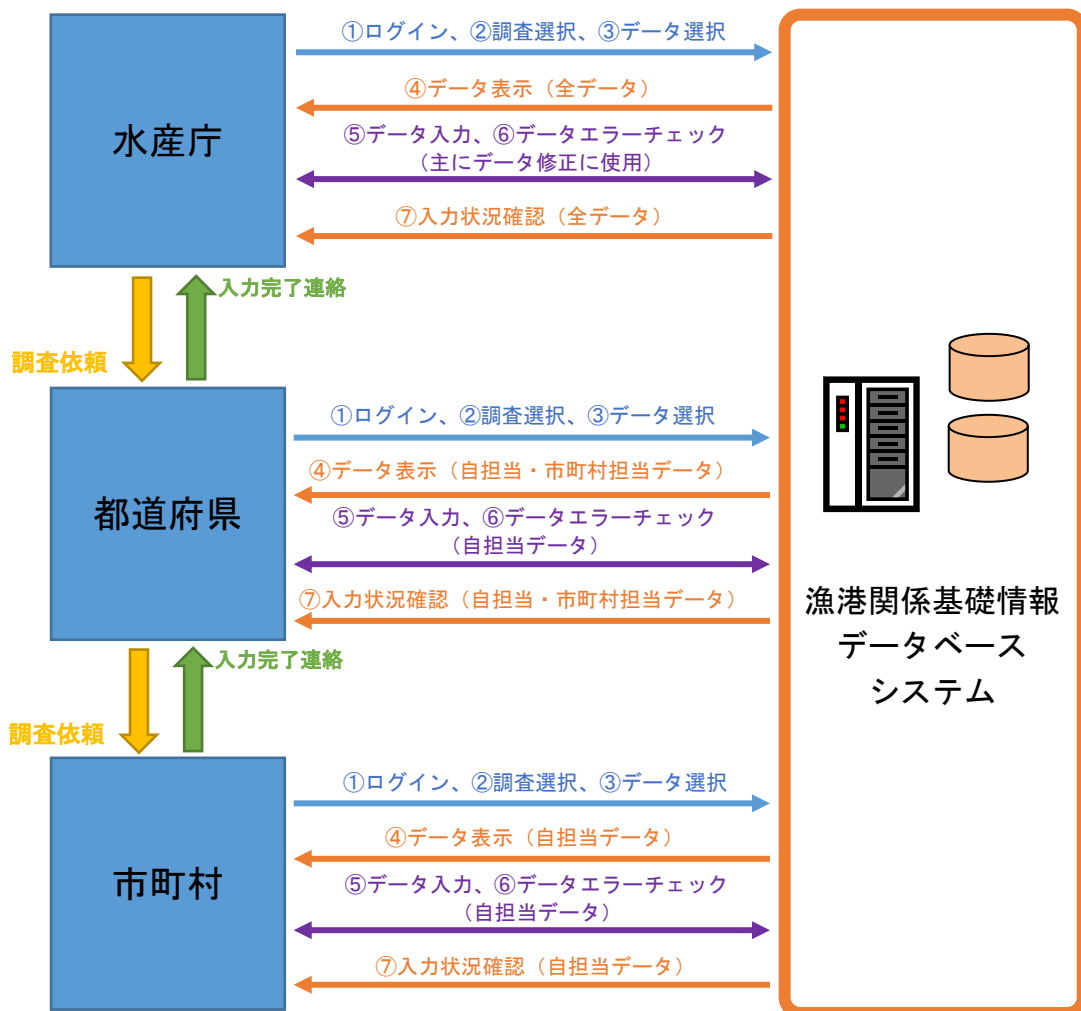


図 e-2-2-1 システム機能 (運用イメージ)

(3) データ構造

整理したデータベース化対象情報と、システム機能から必要なデータ構造を検討し、データベースPostgreSQLにてテーブル定義を行った。

作成したデータベーステーブルを以下に示す。

① 共通機能テーブル

表 e-2-2-2 共通機能テーブル一覧

No	テーブル名	内容
1	t_user	システムユーザアカウント情報

② 漁港港勢情報機能テーブル

表 e-2-2-3 漁港港勢情報機能テーブル一覧

No	テーブル名	内容
1	t_都道府県	都道府県情報（データ選択に使用）
2	t_漁港名	漁港情報（分区・分港は区別しない）
3	t_市町村漁港	市町村毎の漁港情報（データ選択に使用）
4	t_港勢調査	漁港・年度毎の港勢調査情報

③ 漁港背後集落情報機能テーブル

表 e-2-2-4 漁港背後集落情報機能テーブル一覧

No	テーブル名	内容
1	M_市区町村	市区町村情報（データ選択に使用）
2	t_haigo_syuraku	漁港背後集落調査情報

1-3. データベースシステム構築

検討した基本設計を元にデータベースシステムを構築した。

(1) システム構築内容

構築したシステム内容を機能毎に示す。

・ 共通機能

① ログイン機能

システムにWebブラウザよりアクセスし、規定のアカウント/パスワードを入力し、システム利用の認証を行う。ログインが成功した場合、システムを利用可能となるが、アカウントに応じ、利用可能な機能、閲覧・編集可能なデータには制限が加わる。



図 e-2-3-1 ログイン機能画面

② 対象調査選択メニュー機能

システムで操作（閲覧・編集）対象とする調査機能を選択する。

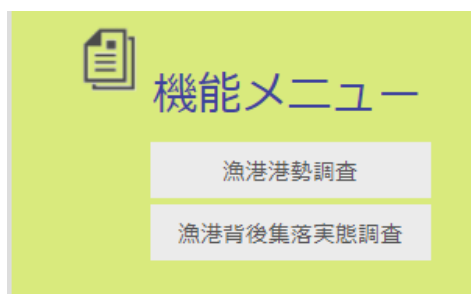


図 e-2-3-2 対象調査選択メニュー機能画面

・ 調査毎機能

以下は、調査毎に作成される機能である。機能の概要は同一だが、対象調査毎にデータの項目・内容が異なるため、画面デザイン、選択・表示・編集の画面項目や一部操作方法に違いが生じる。

③ データ選択機能

表示または編集する調査データを、都道府県、市町村、漁港名等の条件を指定することにより、選択可能とする。上位条件を選択すると、下位の条件は適宜選択できる条件

項目が絞り込まれる。

図 e-2-3-3 データ選択機能画面（港勢調査）

図 e-2-3-4 データ選択機能画面（背後集落調査）

④ データ表示機能

選択されたデータを表示する。表示は、データの種類ごとにサブメニュー等を用い、ユーザにとって分かりやすいレイアウトとする。また、調査項目ごとに入力する内容の説明や注意事項も併せて表示する。

平成29年度水産基盤整備調査委託事業「漁港漁場分野におけるICT技術の活用検討調査」WEBシステム（試行運用版）

全国港勢調査WEB入力システム

都道府県 北海道 入力状況確認

市町村 函館市

漁港名 住吉

漁港番号 1114170

年度 2014

1.登録・利用漁船

集計番号	船種区分	登録漁船		総数(実数) (a+b)		利用漁船		外來船(実数) (b)		外來漁船の 主船所賦地	
		隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	所賦漁港・港番号	実隻数		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
0 2	漁船総数(A)=(B+C)	48	71.6	20	41.599999999999994	20	41.599999999999994	0	0		
0 3	動力漁船総数(B)	48	71.6	20	41.599999999999994	20	41.599999999999994	0	0		
0 4	3ト未満	44	43.7	18	27.7	18	27.7				
0 5	3～5ト	2	8.3	1	4.2	1	4.2				
0 6	5～10ト	2	19.8	1	9.7	1	9.7				
0 7	10～20ト			0	0						
0 8	20～50ト			0	0						
0 9	50～100ト			0	0						
1 0	100～200ト			0	0						
1 1	200～500ト			0	0						
1 2	500ト以上			0	0						
1 3	無動力漁船(C)			0	0						

図 e-2-3-5 データ表示機能画面（港勢調査）

平成29年度水産基盤整備調査委託事業「漁港漁場分野におけるICT技術の活用検討調査」WEBシステム (試用運用版)

全国漁港背後集落实態調査WEB入出力システム

都道府県 北海道 入力状況確認

市町村 函館市

漁港 住吉

漁港番号 1114170

集落 住吉町

(1)漁村背後集落基礎情報

1 都道府県情報

1)都道府県名 北海道

平均財政力指数欄には、各都道府県に所在する過疎市町村の財政力指数（平成24年度～平成26年度平均値）の平均値（小数3位止）を記入すること。※市町村合併を行っている場合の個別市町村の財政力指数の算出方法

①平成27年度に合併している場合は、旧市町村の平成24～26年度の平均財政力指数を用いて計算
②平成26年度に合併している場合は、新市町村の平成26年度半年度の財政力指数を用いて計算
③平成25年度に合併している場合は、新市町村の平成25～26年度の2か年の財政力指数を用いて計算

2)都道府県内過疎市町村の平均財政力指数 0.39

[注意]都道府県内全集落データの入力値が同一であること。

2 市町村情報

1)市町村名 函館市

平成28年3月現在の市町村名を記載すること。
記載例：○○市

2)旧市町村名

平成20年度以降に合併している市町村については、旧市町村名を記載すること。
記載例：旧△△町

3)行政人口 266117人

平成27年国勢調査における市町村の人口を記入すること。なお、平成27年国勢調査以降に市町村合併を行っている場合は、旧市町村人口を合算した新市町村人口を記載すること。

図 e-2-3-6 データ表示機能画面（背後集落調査）

⑤ データ入力機能

調査項目毎にデータ入力（文字、数値入力、及び選択肢からの択一または複数選択）を可能とする。入力・選択した項目により、データ合計値欄が自動的に再計算されたり、データ入力が必要なくなった項目の入力が不可能になったりと画面制御を行う。

1.登録・利用漁船

集計番号	登録・利用区分		登録漁船	
	階層区分		隻数	総トン数
			①	②
0 2	漁船総数(A)=(B+C)		48	71.6
0 3		動力漁船総数(B)	48	71.6
0 4		3トン未満	44	4.7
0 5		3～5トン	2	8.3
0 6		5～10トン	2	19.6

1.登録・利用漁船

集計番号	登録・利用区分		登録漁船	
	階層区分		隻数	総トン数
			①	②
0 2	漁船総数(A)=(B+C)		444	71.6
0 3		動力漁船総数(B)		71.6
0 4		3トン未満	440	3.7
0 5		3～5トン	2	8.3
0 6		5～10トン	2	19.6

→

図 e-2-3-7 データ入力機能画面（港勢調査）

図 e-2-3-8 データ入力機能画面（背後集落調査）

⑥ データエラーチェック機能

入力選択が必須な項目が未入力な場合、入力したデータ項目間でデータの不整合や矛盾が生じる場合、データエラーが発生していることをユーザに示し、データの修正をサジェストする。

集計番号	階層区分	登録・利用区分	登録漁船	
			隻数 ①	総トン数 ②
0 2	漁船総数(A)=(B+C)		48	119.6
0 3	動力漁船総数(B)		48	119.6
0 4	3トン未満		44	
0 5	3～5トン		2	100

図 e-2-3-9 データエラーチェック機能画面（港勢調査）

都道府県	北海道	入力状況確認	(2)集落規模
市町村	函館市		[5] ≥ [6]である必要があります。 7が空です。
漁港	住吉		[7] ≥ [8]である必要があります。
漁港番号	1114170		[7] ≥ [10]である必要があります。
集落	住吉町		
(1)漁村背後集落基礎情報			5 集落人口
(2)集落規模			842 人
(3)漁業順位			6 65歳以上人口
(4)漁業集落排水事業実施状況			4060 人
(5)防災対策			7 漁家世帯人口
(6)地域指定状況			人
(7)公共施設等の整備状況			8 漁業就業者数
(8)集落立地状況			ここでいう漁業就業者とは、満15歳以上で、 日以上従事した者をいう。
(9)漁業地域の活性化関係			18 人
(10)浜プラン・広域浜プラン			
(11)水産物流通拠点漁港における業務継続計画 関係			

図 e-2-3-10 データエラーチェック機能画面（背後集落調査）

⑦ 入力状況確認機能

調査データの入力依頼後、データの入力が完了しているかを確認可能とする。

都道府県ユーザが操作している場合は当該都道府県に属する漁港または漁港背後集落のデータ入力状況を、市町村ユーザが操作している場合は当該市町村に属する漁港または漁港背後集落のデータ入力状況を確認できる。また、水産庁ユーザは全てのデータの入力状況を確認できる、

入力状況欄に示される入力状況内容は以下の通り。

表 e-2-3-1 入力状況確認画面 入力状況内容

入力状況欄表示	内容
○	当該データの入力がエラーのない状態で完了している。
×	当該データにエラーがある状態であり、入力が完了していない。
未入力	当該データの入力が行える状態になってから全ての項目についてデータ入力が行われていない。

市町村	漁港	入力状況	最終更新履歴
浜頓別町	斜内	○	2016/10/06 02:01:21
猿払村	浜猿払	×	2017/01/04 22:01:09
猿払村	知来別	×	2017/01/07 17:51:07
稚内市	宗谷	○	2017/01/01 05:13:20
稚内市	声間	未入力	
稚内市	西稚内	×	2016/11/15 10:57:04
豊富町	稚咲内	未入力	
礼文町	東上泊	×	2017/01/21 22:42:54
礼文町	幌泊	○	2017/01/07 07:54:08
礼文町	浜中	×	2016/10/25 19:23:35
礼文町	須古嶺	未入力	
礼文町	西上泊	×	2017/01/05 00:12:36
礼文町	宇遠内	未入力	
礼文町	知床	×	2017/01/03 08:07:59
礼文町	差間	未入力	
礼文町	香深井	×	2017/01/24 12:09:56
礼文町	内路	未入力	
利尻町	新湊	未入力	
利尻町	蘭泊	○	2016/12/12 21:48:17
利尻町	御崎	未入力	
利尻富士町	南浜	○	2016/10/26 10:38:03

閉じる

図 e-2-3-11 入力状況機能画面（港勢調査）

市町村	漁港	集落	入力状況	最終更新履歴
枝幸町	オホーツク枝幸漁港(音標地区)	音標	未入力	
枝幸町	オホーツク枝幸漁港(乙忠部地区)	乙忠部	○	2016/11/03 21:02:23
枝幸町	オホーツク枝幸漁港(山白地区)	山白	未入力	
枝幸町	オホーツク枝幸漁港(徳志別地区)	徳志別	未入力	
枝幸町	オホーツク枝幸漁港(岡島地区)	岡島	未入力	
枝幸町	オホーツク枝幸北漁港(問牧地区)	問牧	○	2016/10/20 09:57:20
枝幸町	オホーツク枝幸北漁港(目梨泊地区)	目梨泊	○	2016/10/26 11:09:35
浜頓別町	斜内	斜内	○	2017/01/01 09:50:11
浜頓別町	斜内	豊浜	未入力	
猿払村	浜猿払	浜猿払	×	2016/10/05 20:06:24
猿払村	知来別	知来別	×	2016/10/12 14:13:26
稚内市	宗谷	宗谷	○	2016/11/17 16:37:28
稚内市	宗谷	清浜	未入力	
稚内市	宗谷	珊内	○	2016/11/05 10:03:19
稚内市	声間	声間	未入力	
稚内市	西稚内	西稚内	×	2016/12/11 10:28:07
豊富町	稚咲内	稚咲内	未入力	
礼文町	東上泊	赤岩2	未入力	
礼文町	東上泊	上泊	未入力	
礼文町	東上泊	高山	未入力	
礼文町	幌泊	幌泊	○	2016/10/17 00:44:41

閉じる

図 e-2-3-12 入力状況機能画面（背後集落調査）

(2) システム操作マニュアルの作成

システム操作マニュアルとして、「漁港港勢情報などのWEB利用による試行システム使用方法について」を作成した。本マニュアルは、試行運用対象者に参照してもらうことを目的としているため、システムのアクセス方法～各機能の操作方法を説明している他に、試行運用にあたっての留意事項、また試行運用版での制限事項についても記載している。

本マニュアルは、報告書別紙-1「漁港港勢情報などのWEB利用による試行システム使用方法について」として示す。

1-4. データベースシステムデータ作成

構築したデータベースシステムの試行運用を実施するため、既往調査データを収集し、システムデータを作成し、データベースシステムへの登録を行った。

(1) 既往調査データの収集

既往調査データとして、以下のデータを収集した。

- ① 漁港港勢データ（平成元年～平成27年）（CD-ROM）
- ② 平成28年度 漁港背後集落情報全国集計（EXCELファイル）

(2) 作成データ

定義済の各テーブルに対し、収集した既往調査データを加工してデータを作成・登録した。

① 共通機能テーブル

表 e-2-4-1 共通機能テーブル レコード数

No	テーブル名	レコード数
1	t_user	3（テスト用、水産庁計画課、水産庁防災漁村課）

② 漁港港勢情報機能テーブル

表 e-2-4-2 漁港港勢情報機能テーブル レコード数

No	テーブル名	レコード数
1	t_都道府県	40
2	t_漁港名	3082
3	t_市町村漁港	2774
4	t_港勢調査	75754

③ 漁港背後集落情報機能テーブル

表 e-2-4-3 漁港背後集落情報機能テーブル レコード数

No	テーブル名	レコード数
1	M_市区町村	1741
2	t_haigo_syuraku	4625

1-5. 試行運用

(1) 試行運用方法の検討

① 試行運用方法の検討

試行運用対象者として選定した漁港管理者（都道府県、市町村）に対して、システム

使用方法を示した上で、各管理漁港の実既往調査結果を参照できるようにしたシステムを操作してもらい、データ入力機能及びエラーチェック機能について、既往調査方法（EXCELファイルに入力して提出）と比較しての意見のアンケートへの記入・提出を依頼した。

② 試行運用環境の設定

試行システムはWEB上での稼働のため、受注者の保有するサーバ上に試行システムを置き、下記の調査対象者ごとにシステムへの接続ID及びパスワードを割り振った。

また、試行システムには全国のデータを搭載したが、調査対象者からは自県（自市）のデータのみしか閲覧・修正できないように設定した。

③ 試行運用対象者の選定・依頼

漁港港勢情報及び漁港背後集落情報について、毎年度データの作成・取り纏め・提出を行う担当者を対象として、既往の調査方法とWEB上で作業を行う試行システムでの方法との比較を調査した。

対象の選定に当たっては、管理する漁港数の多い都道府県・市町村を抽出し、地域の偏り等にも考慮し対象を選定した。対象者に対しては、システムを利用可能とするため、共通機能テーブル：t_user に個別のアカウント情報を追加し、アンケート依頼時にアカウント情報も併せて通知した。

また、事前にネットワークセキュリティの高いとの情報があった都道府県に対して、システムへのアクセスが可能かについて確認を行ってもらい、アクセスができることを確認した。

試行運用対象者（アンケート対象）は以下のとおりである。

表 e-2-5-1 試行運用対象者一覧

No	試行運用対象者
1	北海道
2	神奈川県
3	三浦市
4	新潟県
5	佐渡市
6	島根県
7	香川県
8	高松市
9	愛媛県
10	宇和島市
11	高知県
12	長崎県
13	熊本県
14	天草市
15	鹿児島県
16	沖縄県

（2）試行運用の実施

試行運用は、平成29年12月22日にWEB上での動作確認を行った上で、上記の16の都道府

県・市町村に対し下記内容のアンケート調査票を同年12月25日にメールにて送信し実施した。

アンケート調査票は、報告書別紙-2「漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試行運用へのアンケート調査について」として示す。

また、試行システムへの調査対象者からのアクセス状況について、適時ログにて確認を行い、アンケート調査期間中に全対象者が正常に試行システムにアクセスできていることを確認した。

(3) 試行運用結果（アンケート）の集約

アンケート調査票の回収は、回答を記入したワードファイルをメール送付してもらうことにより実施した。提出期限は平成30年1月30日であり、2月上旬に全ての試行運用対象者からの回答を受領した。

アンケート調査票の全ての回答は、報告書別紙-3「漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試行運用へのアンケート調査（回答結果）」として示す。

1-6. システムの評価

試行運用結果（アンケート）を元に、現在の漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査における問題点、現在の問題点に対する業務支援としてのシステムの評価、システムの問題点・改善要望点について整理した。

(1) 現在の漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査における問題点

現在の漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査における問題点を以下に示す。主なものとしては、

- ① 入力方法がEXCELファイルであることに起因する入力ミスがあること。
- ② 市町村・都道府県・水産庁間で、ファイルによるデータのやり取りが発生し、データの確認・修正依頼等の作業・時間を要すること。
- ③ 入力エラー発生時に、エラーの原因を作業要領等の別資料を参照した上で、データの修正をする必要があること。

等が挙げられる。

表 e-2-6-1 現在の漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査における問題点

No	分類	項目	内容
1	港勢調査	EXCELでのデータ入力	① 作業中にエラーで終了してしまうことがある。 ② データの登録（テキストファイル出力）、データの呼び出し（テキストファイル読み込み）に時間がかかりすぎる。 ③ 操作方法が分かりにくい（特に新しく担当職員にとって）。
2		データ入力作業運用手順	① 漁協が集計している漁獲量及び陸揚量のデータを港勢調査の様式・項目に整理しデータを入力するのに多大な時間を要する。 ② 水産庁では、全都道府県から提出された港勢調査データ（テキストファイル）を、データベースに取り込む作業が発生するが、この作業を業務委託している。エラーチェックを行なった上で間違いがあれば都道府県に修正を依頼する等、データが完成までに作業・費用・時間を要する。
3		EXCELからのデータ出力	① 印刷に時間を要する。
4	漁港背後集落調査	EXCELでのデータ入力	① 集落ごとに設問項目に対して値を入力する単純な表形式でのデータ入力であり、設問内容の記載が少ないため、回答欄をずれて入力してしまう等のミスが起こりやすい。 ② データ入力シートに、自入力担当だけではなく他のデータも記載されており且つ表示順が漁港種別番号順であるため、入力対象行の把握に時間がかかるとともに、誤った箇所への入力または入力漏れが発生しやすい。

No	分類	項目	内容
5	(続き) 漁港背後 集落調査	データ入力 作業運用手 順	① (都道府県にて) 市町村から提出されたデータを、回答用のファイルに転記する必要があり、作業と確認に時間を要する。
6	共通	データ入力 作業運用手 順	① (都道府県にて) データ収集及び入力を市町村に依頼後、入力データのチェックを行っているが、入力間違いが多い。間違いがあった場合、市町村に修正・確認を依頼し、データ完成までに作業や時間を要する。
7		EXCELデータ 入力時のエ ラーチェッ ク	① 調査表EXCEL入力時に、セル間の数値一致チェック等によるエラーが発生した場合、エラーの内容が分かりにくく、調査要領等を参照し原因を確認しなければならず、作業が煩雑である(特に新しく担当職員にとって)。

(2) 現在の問題点に対する業務支援・業務効率化にかかるシステムの評価

現在の問題点に対する業務支援・業務効率化にかかるシステムの評価を以下に示す。主なものとしては、

- ① データを入力すべき欄が明確であり、入力内容の説明、入力規則等を別資料の参照をせずにシステム上で確認できること。
- ② 入力エラーがある場合、当該入力欄が赤色で示されるとともに、エラー事由が表示されるので、修正箇所・修正内容が分かりやすいこと。
- ③ 入力状況確認画面により、自入力担当及び確認担当のデータについて、入力状況(未入力、エラーがあり入力未完了等)をリアルタイムで把握できること。
- ④ ファイルによるデータ送受信等データ取りまとめにかかる作業が削減できること。等が挙げられる。

表 e-2-6-2 現在の問題点に対する業務支援・業務効率化にかかるシステムの評価

No	分類	項目	内容
1	港勢調査	Web画面での データ入力	① 入力項目毎にヘルプアイコンがあり、項目の説明、入力規則等を、調査要領を参照せずに把握できる。 ② ファイル(テキストファイル)の読み込み・書き込みが不要になり、データ入力がスムーズに行える。また、過年度データの参照も容易になった。 ③ 操作性・画面レイアウトはEXCEL版に近いので、既存の入力方法から違和感なく移行できる。
2		Web画面での データ入力	① Web画面では、背後集落・調査年度を選択してからデータ入力を行うため、別な背後集落にデータを入力してしまう等のミスは起こりにくい。 ② データ入力欄には、設問項目名や、記入すべき内容の説明、注意事項、入力規則等が併記されており、異なる設問にデータを入力してしまう等のミスは起こりにくい。 ③ ログインIDにより、入力担当の背後集落のみがデータ入力可能になるので、入力対象の選択にかかる時間が軽減できる。
3	共通	Web画面での データ入力	④ 入力が必要な欄と、自動計算結果等が表示される入力不要なら欄が、色別で示されており分かりやすい。
4		データ入力 作業運用手 順	① 入力依頼・入力完了時に伴う、データのインポート・エクスポート、ファイルの送受信等の取りまとめにかかる処理が不要になり、大幅に作業時間が削減される。 ② エラーチェック、入力状況確認機能により、データ取りまとめ後の確認作業や再修正指示に関する作業は削減される。
5		データ入力 時のエラー チェック	① データ入力時に、単独または複数項目での矛盾等によるエラーが即時に赤色で明確に表示され、エラー箇所の把握がしやすい。 ② エラー事由が画面上で確認できるので、調査要領等の別資料の参照が不要になる。
6		(続き) 共通	入力状況確 認

(3) システムの問題点・改善要望点

システムの問題点・改善要望点を以下に示す。主なものとしては、

- ① 試用版システムの不具合に起因する問題点
- ② データの印刷（PDF出力）及び各種形式でのEXCEL・CSV出力（データ一覧、経年比較、集計等）に関する要望
- ③ データ入力時の操作性向上、前年度データの参照・比較を可能にすることについての要望
- ④ 入力状況確認時の操作性と確認作業効率化に関する要望。
- ⑤ システム運用に関するルールについての確認。特にユーザ付与に関するルールと、データの入力・確認手順についてのルールについての確認。
- ⑥ インターネット接続環境に起因するシステムの使用制限・接続状況に関する改善の要望

等が挙げられる。

表 e-2-6-3 システムの問題点・改善要望点

No	分類	項目	内容
1	港勢調査	Web画面でのデータ入力	<ol style="list-style-type: none"> ① EXCEL入力版にある「自由記入欄」、「使用した資料名等」のデータ項目を残すことを要望。 ② 分区・分港がある場合、個別に情報を入力した上で、合冊データ作成できるような機能を要望。 ③ 項目追加の要望。
2		Web画面でのデータ選択	<ol style="list-style-type: none"> ④ 港勢調査のデータ選択は「年度」ではなく「年」単位である（問題点）。
3		データ出力	<ol style="list-style-type: none"> ① 港勢調査票様式での印刷機能もしくはPDFもしくは出力機能を要望。 ② 印刷・PDF出力は、都道府県単位、市町村単位一括に可能にすることを要望。 ③ 港勢概要の出力対応を要望。 ④ 複数漁港を選択して、合計値・平均値出力機能を要望。 ⑤ EXCEL入力版でデータのやり取りに用いているテキストファイルの出力機能を要望。
4	漁港背後集落調査	Web画面でのデータ入力	<ol style="list-style-type: none"> ① 市町村単位で同一な情報を、複数背後集落の入力項目欄に対して繰り返し入力する作業に時間がかかるとともに、入力ミスも起こりやすいため、一括での情報入力を可能とするような機能を要望。 ② 選択項目のボタンにて、文字列の後ろ（右側）をクリックしても反応してしまう（問題点）。 ③ 入力する文字列に対し、入力欄の幅が適切でない項目がある（問題点）。 ④ 選択肢項目について、設定されている選択肢以外（「把握していない」、「不明」等）を選択可能にすることを要望。 ⑤ 入力途中（入力確定前）にエラー表示する必要はないのではないか、入力確定後にすることを要望。 ⑥ 現行フォーマットのEXCELデータ（またはCSVデータ）をインポートする機能を要望。 ⑦ 項目追加の要望。
5		データ入力作業運用手順	<ol style="list-style-type: none"> ① 同一データに対し、複数ユーザでの入力を可能にすることを要望（入力項目の制御もできると良い）
6		データ集計機能	<ol style="list-style-type: none"> ① 現在のEXCELデータで可能になっている各種集計機能への対応を要望（例：ある県だけを除いたデータ、集落人口が5,000人以下の集落を抜粋したデータ、65歳以上の人口が50%を超えている集落データ、集落世帯数、漁家世帯数、漁業比率を任意の数字で分けた場合のデータのみを出力する等）

No	分類	項目	内容
7		Web画面でのデータ入力	<ul style="list-style-type: none"> ① 数値項目において、小数点の入力制限、桁数表示等の処理に誤りがある入力欄がある（問題点）。 ② 画面サイズを変化させたときに、画面内のレイアウト表示が不正になることがある（問題点）。 ③ 画面左のデータ種類メニューが細分化されており、選択→入力の作業が煩雑である（問題点）。 ④ 現在入力・閲覧中のデータ種類を画面左のデータ種類メニューで分かるようにすることを要望（色を変える、アイコン等）。 ⑤ 入力画面にて、過去データとの比較できるような表示を要望。（例：前年度の値や過去5年平均値を入力欄の横に表示、前年度と違う値であることを分かるようにする（入力欄色、アイコン等）、前年度と大幅に違う値であることを分かるようにする（入力欄色、アイコン等）） ⑥ 前年データと違う値、前年データと大幅に違う値について、確認結果を入力・参照できるようにすることを要望。
8		Web画面でのデータ選択	<ul style="list-style-type: none"> ① データ選択にて、年（年度）選択は新しい年を上にするように要望。 ② 漁港選択コンボボックスは、漁港番号順にすることを要望。 ③ データ選択機能の拡充を要望。（市町村を選択しなくても、漁港コンボボックスから選択できる、漁港番号、漁港名を入力しての絞込等）。
9		データ入力作業運用手順	<ul style="list-style-type: none"> ① 当該年度のデータ入力がいつまで可能で、どのタイミングで閲覧のみ（入力不可）になるのか、市町村でのデータ入力後、都道府県でのデータ確認時のデータ修正は可能か等、運用ルール提示を要望。 ② システムIDの発行ルールの提示を要望（都道府県内でエリアにより複数のID発行が可能か、漁協、委託業者へのID発行の可否、管理者が複数の漁港の場合等）。
10		データ入力時のエラーチェック	<ul style="list-style-type: none"> ① エラー事由欄が画面上部にあるため、入力項目が多く画面を下にスクロールしている場合、エラー項目のエラー事由が一目で確認できないことがある（問題点）。
11	共通	入力状況確認	<ul style="list-style-type: none"> ① 入力状況画面で、誰がデータを修正したのかを分かるようにすることを要望（出来ればどの項目を修正したかも分かると良い）。 ② 入力状況で「データ入力を開始後、入力途中であるが、エラーのない状態」で作業を中断している場合も、「○」で表示されてしまうのではないかと（問題点）。この入力状況を区別するためにデータ入力画面で「データ入力完了」を示す操作が必要ではないか。 ③ 都道府県、水産庁担当者が、データ入力画面で「データ確認完了」を示す操作を行えるようにし、入力状況画面で確認状況も把握できるような機能を要望。 ④ 入力状況画面で、データを選択し、当該データの入力画面へ直接移動できるような操作を可能にするように要望。 ⑤ 入力状況画面に、データの絞込機能等を要望（未入力のデータのみ、〇〇県のデータのみ、〇〇市だけのデータのみ等の表示等）。 ⑥ 入力状況を県単位、市町村単位にまとめて表示する機能を要望（県内の、未入力データ数、エラーデータ数を表示等）。 ⑦ 県単位<=>市町村単位<=>漁港・漁港背後集落単位のデータ表示を簡易な操作で切り替えるような機能を要望。 ⑧ エラーがある場合、エラー内容を分かるようにすることを要望
12		データ出力	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 各種様式での印刷機能を要望 ⑩ データ一覧表のEXCELまたはCSVでのファイル出力を要望。（当該年度的全データ、任意漁港・漁港背後集落の複数年度データ（経年推移）等）。
13		Webシステムの動作	<ul style="list-style-type: none"> ① 庁内のネットワークセキュリティ制限により、システムの動作が遅く感じられる時がある。また一提示間でサイトへの接続が強制的に遮断される（問題点）。 ② 庁内からのインターネットへの接続に制限があるため、システムのLGWANへの設置の検討を要望。 ③ データ選択で、コンボボックスにて市町村、漁港等を選択時に、エラーが発生し、選択が出来ない状態になることがある（問題点）。 ④ オフラインでのシステム入力・閲覧への対応を要望。

No	分類	項目	内容
14	(続き) 共通	その他	① 各調査機能画面から、機能選択メニュー画面に戻る操作を可能にすることを要望。 ② 画面から、システム説明書やQ&A (FAQ) 等を参照可能にすることを要望。 ③ 入力担当者の氏名、連絡先を参照する機能を要望。

VI. 今後の課題

1. 漁港関係基礎情報のデータベース化の検討

(1) 試行運用版データベースの修正

「V. 結果 1-6. システムの評価 (3) システムの問題点・改善要望点」に整理した問題点のうち、試行運用版での制限事項に該当しないシステムの不具合について、システムの修正を行なった。(試行運用版での制限事項の詳細については、「別紙-2 漁港港勢情報等のWEB利用による試行システム使用方法について」を参照)。

また、同項で整理した改善要望点のうち、要望が多かったシステムデータの出力機能への対応例を示すため、港勢調査データを帳票出力レイアウトで表示し、印刷またはファイル出力を可能にする機能を追加した。

修正した問題点及び追加した機能を以下に示す(表内の番号は、「表 e-2-6-3 システムの問題点・改善要望点」と対応させているため、連番ではない)。

表 f-2-6-1 試行運用版データベースの修正内容

No	分類	項目	内容
2	港勢調査	Web画面でのデータ選択	① 港勢調査のデータ選択は「年度」ではなく「年」単位である(問題点)。
3		データ出力	① 港勢調査票様式での印刷機能もしくはPDFもしくは出力機能を要望。
4	漁港背後集落調査	Web画面でのデータ入力	② 選択項目のボタンにて、文字列の後ろ(右側)をクリックしても反応してしまう(問題点)。 ③ 入力する文字列に対し、入力欄の幅が適切でない項目がある(問題点)。
7	共通	Web画面でのデータ入力	① 数値項目において、小数点の入力制限、桁数表示等の処理に誤りがある入力欄がある(問題点)。 ② 画面サイズを変化させたときに、画面内のレイアウト表示が不正になることがある(問題点)。

(2) データベースの機能追加・機能改良の検討

「V. 結果 1-6. システムの評価 (3) システムの問題点・改善要望点」に整理した問題点・改善要望点について、以下の基準により、機能追加・機能改良すべきであるかの検討を実施した。

- ① データ入力作業の効率化・省力化が図れるかどうか
- ② データ確認作業の効率化・省力化が図れるかどうか
- ③ 調査結果を漁港行政及び水産基盤整備事業に利用する支援として有効かどうか
- ④ システムの安定的な利用及び継続的な運用において有効かどうか
- ⑤ 多くの利用者が必要としているかどうか

検討の結果、機能追加・改良対象とすべきであると判断した問題点・改善要望点を以下に示す。(表内の番号は、「表 e-2-6-3 システムの問題点・改善要望点」と対応させているため、連番ではない)。

表 f-2-6-2 データベースの機能追加・機能改良対象とすべき問題点・改善要望内容

No	分類	項目	内容
1	港勢調査	Web画面でのデータ入力	① EXCEL入力版にある「自由記入欄」、「使用した資料名等」のデータ項目を残すことを要望。
3		データ出力	④ 複数漁港を選択して、合計値・平均値出力機能を要望。
4	漁港背後集落調査	Web画面でのデータ入力	① 市町村単位で同一な情報を、複数背後集落の入力項目欄に対して繰り返し入力する作業に時間がかかるとともに、入力ミスも起こりやすいため、一括での情報入力を可能とするような機能を要望。 ④ 選択肢項目について、設定されている選択肢以外（「把握していない」、「不明」等）を選択可能にすることを要望。
5		データ入力作業運用手順	① 同一データに対し、複数ユーザでの入力を可能にすることを要望
6		データ集計機能	① 現在のEXCELデータで可能になっている各種集計機能への対応を要望（例：ある県だけを除いたデータ、集落人口が5,000人以下の集落を抜粋したデータ、65歳以上の人口が50%を超えている集落データ、集落世帯数、漁家世帯数、漁業比率を任意の数字で分けた場合のデータのみを出力する等）
7	共通	Web画面でのデータ入力	③ 画面左のデータ種類メニューが細分化されており、選択→入力の作業が煩雑である（問題点）。 ④ 現在入力・閲覧中のデータ種類を画面左のデータ種類メニューで分かるようにすることを要望（色を変える、アイコン等）。 ⑤ 入力画面にて、過去データとの比較できるような表示を要望。（例：前年度の値や過去5年平均値を入力欄の横に表示、前年度と違う値であることを分かるようにする（入力欄色、アイコン等）、前年度と大幅に違う値であることを分かるようにする（入力欄色、アイコン等）） ⑥ 前年データと違う値、前年データと大幅に違う値について、確認結果を入力・参照できるようにすることを要望。
8		Web画面でのデータ選択	③ データ選択機能の拡充を要望。（市町村を選択しなくても、漁港コンボボックスから選択できる、漁港番号、漁港名を入力しての絞込等）。
9		データ入力作業運用手順	① 当該年度のデータ入力がいままで可能で、どのタイミングで閲覧のみ（入力不可）になるのか、市町村でのデータ入力後、都道府県でのデータ確認時のデータ修正は可能か等、運用ルール提示を要望。 ② システムIDの発行ルールの提示を要望（都道府県内でエリアにより複数のID発行が可能か、漁協、委託業者へのID発行の可否、管理者が複数の漁港の場合等）。
11		入力状況確認	① 入力状況画面で、誰がデータを修正したのかを分かるようにすることを要望。 ② 入力状況で「データ入力を開始後、入力途中であるが、エラーのない状態」で作業を中断している場合も、「○」で表示されてしまうのではないかと（問題点）。この入力状況を区別するためにデータ入力画面で「データ入力完了」を示す操作が必要ではないか。 ③ 都道府県、水産庁担当者が、データ入力画面で「データ確認完了」を示す操作を行えるようにし、入力状況画面で確認状況も把握できるような機能を要望。 ④ 入力状況画面で、データを選択し、当該データの入力画面へ直接移動できるような操作を可能にするように要望。 ⑤ 入力状況画面に、データの絞込機能等を要望（未入力のデータのみ、〇〇県のデータのみ、〇〇市だけのデータのみ等の表示等）。 ⑥ 入力状況を県単位、市町村単位にまとめて表示する機能を要望（県内の、未入力データ数、エラーデータ数を表示等）。 ⑦ 県単位<=>市町村単位<=>漁港・漁港背後集落単位のデータ表示を簡易な操作で切り替えるような機能を要望。

No	分類	項目	内容
12	(続き) 共通	データ出力	① 各種様式での印刷機能を要望 ② データ一覧表のEXCELまたはCSVでのファイル出力を要望。(当該年度の全データ、任意漁港・漁港背後集落の複数年度データ(経年推移)等)。
13		Webシステムの動作	② 庁内からのインターネットへの接続に制限があるため、システムのLGWANへの設置の検討を要望。
14		その他	① 各調査機能画面から、機能選択メニュー画面に戻る操作を可能にすることを要望。 ② 画面から、システム説明書やQ&A(FAQ)等を参照可能にすることを要望。

また、改善要望点としては挙がっていないが、「V.結果 1-6.システムの評価(2) 現在の問題点に対する業務支援・業務効率化にかかるシステムの評価」において、現在の調査方法に比べた場合、Webシステムを使った調査に対して、データ入力、特にエラー箇所・エラー事由の把握がしやすい点、入力状況がリアルタイムで把握できる点、調査結果の送受信・取りまとめにかかる作業が削減できる点等において評価する意見が見られたため、港勢調査・漁港背後集落調査以外の、調査についてもWebデータベース化することを検討課題とする。データベース対象とする調査は、過去に実施された調査について情報を集約した上で、以下の基準により優先度を決定する。

- ① 今後も継続的・定期的実施される調査であるか
- ② 過去の調査結果の閲覧が必要な調査であるか。
- ③ 調査対象者数、調査データ数、調査データ項目数が多く、依頼・入力・集計等の作業負荷が大きい調査であるか

また、この基準に合致しない単回の調査・アンケートについても、担当者が調査項目を自由に設定し、Webシステムから調査依頼・入力・集計を、簡易に行える機能の実装について検討する。

その他、試行仕様版での制限事項の解除対応(全入力項目でのエラーチェック動作確認、項目内容説明・入力規則の表示、漁港・背後集落の追加・削除・変更等)、地図情報(GIS)機能の追加検討等も行う。

(3) 実運用に向けての検討課題

① データベースの機能追加・機能改良について

「(2) データベースの機能追加・機能改良の検討」の検討結果を踏まえて、実装する機能とその仕様を決定し、データベースの機能追加・機能改良を行う。

追加・改良する機能の仕様については、画面レイアウト、帳票レイアウト等を示しながら実装前に説明・確認を実施する。特に実運用においての運用手順・運用ルールに関わる仕様(IDの発行と権限、都道府県・水産庁にて個別データの確認完了操作を行うか等)については、水産庁調査担当者を交えて十分な協議・確認を行うこととする。

また、改良後のシステムについては、都道府県・市町村での試行運用を改めて実施することが望ましい。

② サーバの管理・運用方法について

本業務でのシステム試行運用は受注者所有のサーバにて実施したが、実運用においては、使用するサーバ及びサーバ動作環境についての導入・管理・運用方法等の検討が必要となる。検討項目を以下に示す。

- イ) サーバ構成(性能、ユーザ数、データ容量、冗長化方法、バックアップ方法等)
- ロ) 設置場所(庁内、委託、データセンタ(ハウジング、ホスティング)、クラウド)

- ハ) 導入費用（サーバ構成、設置場所による）
- ニ) ランニングコスト（サーバ構成、設置場所による）
- ホ) 管理方法（電源管理、不正アクセス対応、管理の委託の有無）
- ヘ) セキュリティ対策（サーバ証明書、ウイルス対策、ファイアウォール）

検討項目は相互に関連しているため、個別での検討は難しい。よって、要件定義・性能要求を定めつつ、各内容のメリット・デメリットを説明しながら比較可能な複数案を提示し、各案での費用と効果について検証することにより、検討を行うこととする。

また、「Ⅴ.結果 1-6.システムの評価（3）システムの問題点・改善要望点」において挙げられていた、「庁内からのインターネットへの接続に制限があるため、システムのLGWANへの設置の検討を要望」については、どれくらいの都道府県・市町村においてこのような制約があり、LGWAN（LGWAN-ASP）でのシステム運営を希望するのかを把握し、必要性について検討した後、LFWAN（LGWAN-ASP）に関する規定（総合行政ネットワークASPガイドライン、総合行政ネットワークASP基本要綱、総合行政ネットワークASP接続約款、総合行政ネットワークASP接続料金、総合行政ネットワークASP登録及び接続資格審査要領）を十分に検証し、運用の実現性・費用対効果について検証する。

③ 各種データベースとのデータ連携について

現在、本データベース以外に、水産庁にて検討を行なっているITを利活用したシステム・データベースに関する調査内容を以下に示す

- イ) ICT 技術を活用した日常点検手法の検討
- ロ) センシング技術を活用した日常点検手法の検討
- ハ) 漁港施設の維持管理情報プラットフォームの検討
- ニ) 漁場施設情報のデータベース化の検討

これらの調査の検討内容について情報を収集し、システム・データベースの目的・構造を整理し、本データベースとのデータ連携の必要性（各システム・データベースの利用においてメリットがあるか、または、複数の情報を統合することにより漁港管理または漁港整備事業において有用な情報が得られるかどうか）と実現性（データ連携の技術的手法及びデータの同期にかかる作業の有無）等を検討する。

また、漁港台帳についても、適切な整備・保存をするための方策を検討し取り組むように水産庁より各漁港管理者に対して事務連絡がなされており、その方策として電子化への取り組みが進められることが考えられる。このため、漁港台帳電子化への取り組みの実態も調査し、データ連携の必要性と実現性についても検討する。

また、各種データベースとのデータ連携の前提として、現在、漁港情報・漁港施設情報のマスターデータが存在しないという問題がある。漁港情報としては、水産庁HPに漁港一覧がPDFにて公開されているが、PDFであるためデータベース化には加工が必要なこと、漁港番号が漁港の統廃合、分区・分港に対応して付与されていないこと等から、データベースの元データとしては使いにくい状態となっている。このため、各データベースでは独自に漁港マスタを作成することになるが、漁港番号の扱いや、漁港名の誤記・入力ミス、分区・分港の扱いに関して差異が生じるため、データベース連携において大きな障害となる。このため、過去から将来に渡り利用可能な漁港情報マスターデータを作成・提供し、メンテナンスすることが、高度な情報利活用の観点から望まれる。

漁港関係基礎情報のデータベース化の検討

別紙-1

漁港港勢情報等のWEB利用による試行システム使用方法について

漁港港勢情報等のWEB利用による 試行システム使用方法について

「漁港漁場分野におけるICT技術の活用検討調査」にかかる
WEBシステムの試行運用及びアンケート調査 別紙

水産庁漁港漁場整備部整備課
公益社団法人全国漁港漁場協会

平成 29 年 12 月

1 試行運用にあたっての留意事項

本説明書は、従来エクセルファイルを用いて実施していた漁港の港勢調査、漁港背後集落調査について、WEB システムを利用して入力・エラーチェック等の作業を試行していただくための使用方法を説明いたします。

以下の試行運用にあたっての留意事項をお読みの上、システムを使用いただきアンケートにご回答ください。

1.1 格納されているデータについて

本システムに格納し、閲覧可能なデータは、

- ・既往の漁港港勢調査データ(平成元年～平成 26 年)
- ・既往の漁港背後集落データ(平成 27 年度分(調査実施:平成 28 年度))

を元に作成しておりますが、システム作成の都合上、データを変換または一部データについて修正・削除をしています。(例えば、漁港の港勢調査データでは、漁港の合併等により現在存在しない漁港の情報が閲覧できない状態になっています。)

アンケートにご回答いただく際は、この点ご承知いただいた上で、データの正誤ではなく、Web システムの機能、使用してみたの既往調査方法との比較等についてのご意見・ご要望をお書きください。

1.2 システムの動作について

本システムは試行評価版であるため動作について一部不具合が生じる可能性があります。不具合につきましてはご意見としてご指摘いただけましたら、今後のシステムの向上に繋げさせていただきます。

また、動作不具合の可能性と前項に記載したデータ内容上の問題がありますので、本システムで表示・出力された情報については本システムの評価以外には使用しないようお願いいたします。

2 システムのアクセス～ログイン～機能メニュー

2.1 動作環境

OS: Windows7、Windows8.X、Windows10

ブラウザ: Microsoft Internet Explorer、Microsoft Edge、Google Chrome

※動作確認は、Windows7 Professional、Windows10 Pro、Microsoft Internet Explorer11、Microsoft Edge40、Google Chrome63 で実施いたしました。

2.2 システムへのアクセス

下記 URL にアクセスしてください。

<http://www.gyokou-db.jp/ICT/login.php>

2.3 ログイン

ブラウザにてシステムにアクセスするとログイン画面が表示されます。



図 1 ログイン画面

画面右側のユーザー名、パスワードに、アンケートとともにお知らせしているユーザー名、パスワードを入力しログインします。

2.4 機能メニュー

ログインが正常に行われると、機能メニューが表示されます。

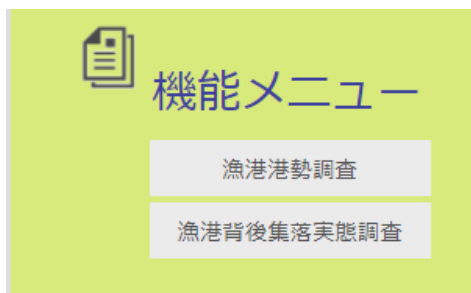


図 2 機能メニュー

3 漁港港勢調査

3.1 データ選択

機能メニューで「漁港港勢調査」を選択すると、「漁港港勢調査入力」画面に遷移します。



図 3 漁港港勢調査入力画面

画面左上で表示・入力するデータを選択します。ログインユーザが都道府県の場合は都道府県がログインユーザが市町村の場合は都道府県・市町村が選択(変更不可)状態となっています。市町村→漁港名→年度を順に選択します。



図 4 漁港港勢調査データ選択

<試用版制限事項>

※市町村で絞り込まれる漁港は管理漁港ではなく、当該市町村に所在する漁港となっています。

※現在は、合併などにより現存しない漁港のデータは表示できません。

※CDにて配布している漁港港勢データでは、種別・内水面・離島での条件検索ができますが、本試用版ではできません。これらの条件検索に加えて、名称、漁港番号による検索の実装を検討しています。

※漁港追加・変更に関する機能は現在未実装です。

3.2 データ表示・入力

都道府県～年度が選択されると、該当する漁港港勢調査データが表示されます。

平成29年度水産資源管理調査委託事業「漁港漁場分野におけるICT技術の活用検討調査」WEBシステム（試行運用版）

全国港勢調査WEB入力システム

都道府県 北海道 入力状況確認

市町村 函根市

漁港名 住吉

漁港番号 1114170

年度 2014

1. 登録・利用漁船

集計番号	登録・利用区分	登録漁船				総数 (実数) (a + b)		地元船 (実数) (a)		外来船 (実数) (b)		外来漁船の主な所属地	
		隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	所属漁港・港湾番号	実隻数		
0 2	漁船総数(A)=(B+C)	48	71.6	20	41.599999999999994	20	41.599999999999994	0	0				
0 3	動力漁船総数(B)	48	71.6	20	41.599999999999994	20	41.599999999999994	0	0				
0 4	3ト未満	44	43.7	18	27.7	18	27.7						
0 5	3～5ト	2	8.3	1	4.2	1	4.2						
0 6	5～10ト	2	18.0	1	9.7	1	9.7						
0 7	10～20ト			0	0								
0 8	20～50ト			0	0								
0 9	50～100ト			0	0								
1 0	100～200ト			0	0								
1 1	200～500ト			0	0								
1 2	500ト以上			0	0								
1 3	無動力漁船(C)			0	0								

図 5 漁港港勢データ表示例

画面左側のデータ種類メニューをクリックすると、該当するデータ種類が表形式で画面右側のデータ表示・入力エリアに表示されます。

- 1. 登録・利用漁船
- 2. 漁港の利用状況
 - (1)1日当たり標準的の最多利用状況（荒天時を除く。）
 - (2)荒天時利用状況（実数）
- 3. 水産物の陸揚量
 - (1)漁獲量及び陸揚量
 - (2)漁業種類別陸揚量（属地数値）
 - (3)魚種別陸揚量（属地数値）
 - (4)属地陸揚量内訳
- 4. 海面漁業の漁業区分別港勢
- 5. 出荷先別配分数値・比率
- 6. 市町村人口及び漁港地区人口等
- 7. 主な漁業関連施設等
- 8. 陸揚形態別陸揚量
- 9. 漁船以外利用船舶の内訳
- 【参考】 輸入水産物取扱い量

図 6 漁港港勢調査データ種類メニュー

データ表示・入力エリアでは、白抜きテキスト入力欄にデータ入力が可能です。データは入力(修正)すると即時的に WEB 上のデータベースに反映されます。また、データ入力(修正)によって合計値等の値も自動的に計算され反映されます。

集計番号		登録・利用区分		登録漁船	
階層区分	登録漁船	隻数	総トン数	①	②
		0 2	漁船総数(A)=(B+C)	48	71.6
0 3	動力漁船総数(B)	48	71.6	444	71.6
0 4	3ト未満	44		440	43.7
0 5	3~5ト	2	8.3		
0 6	5~10ト	2	19.6		

図 7 データ表示・入力エリア(データ編集例)

なお、データ表示・入力エリアに表示されているヘルプアイコン(?)の上にマウスカーソルを乗せると、調査実施要領に記載されている項目ごとの記入内容の説明をポップアップ表示し、データ入力スムーズに行えるように支援します。

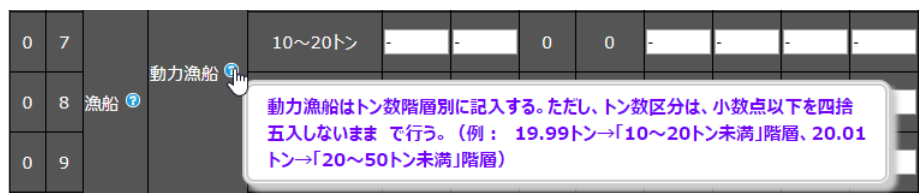


図 8 ヘルプアイコン使用例

<試用版制限事項>

- ※データの入力・編集が可能なのは新規調査対象年度に対してのみであり、過去データは閲覧参照のみとするべきですが、現在は全年度のデータを更新可能な状態になっています。
- ※合併などにより現存しない漁港のデータが表示できるようになった場合、当該漁港に対しての新規調査対象年度データの入力はできないようにします。
- ※実際の運用ではデータ確認が完了した時点で、データの編集不可とし閲覧参照のみにします。この操作は調査依頼元である水産庁にて実施する予定です。
- ※データ確認後のデータ修正は水産庁のみで可能とする予定です。
- ※調査依頼前に水産庁にて新年度データの入力を可能な状態にしてから、調査依頼を実施する予定です。
- ※現在、ヘルプアイコンは「1.登録・利用漁船」の一部項目のみに設定されています。実運用時は調査実施要領に記載されている全ての項目をヘルプアイコンから表示可能にする予定です。

3.3 データエラーチェック

データ表示・入力エリアにて、データ入力時にエラーが発生した場合、当該入力欄を赤くし、データ表示・入力エリア上部にエラー事由を表示します。また、データ種類メニューにも該当するデータにおいてエラーがあることを示します。

都道府県 北海道 ▼ 入力状況確認

市町村 函館市 ▼

漁港名 住吉 ▼

漁港番号 1114170

年度 2014 ▼

1.登録・利用漁船

2.漁港の利用状況

(1)1日当たり標準的最多利用状況 (荒天時を除く.)

(2)荒天時利用状況 (実数)

3.水産物の陸揚量

(1)漁獲量及び陸揚量

1.登録・利用漁船

登録漁船 動力漁船3～5トンの総トン数が隻数と不整合です。
登録漁船 動力漁船3トン未満の総トン数が不正です。

集計番号	登録・利用区分		登録漁船	
	階層区分		隻数 ①	総トン数 ②
0 2	漁船総数(A)=(B+C)		48	119.6
0 3	動力漁船総数(B)		48	119.6
0 4	3トン未満		44	
0 5	3～5トン		2	100

図 9 エラーチェック表示例

エラー事由としては以下のものが挙げられます。

- ① 項目間でデータ不整合・データ矛盾が発生している場合。
- ② 入力必須項目欄が未入力、または選択必須項目が未選択の場合。

また数値入力欄には、数値以外の文字入力を禁止しています。

<試用版制限事項>

※現在エラーチェックの動作確認は「1. 登録・利用漁船」データのみで可能です。「1.登録・利用漁船」データの値を変更し、エラーが発生した時の画面表示イメージをご確認ください。(但し、一部項目にてエラーチェックが正しく動作しない可能性があります。ご了承ください。)

※エラーがある状態でもデータは保存されます。次回以降当該データを呼び出した時点でエラー状態が再現される予定です。

※エラーが解決されない状態で入力が終わった場合、データベースにエラー状態であることが保存されます。この情報は次項「3.4 データ入力状況確認」で利用されます。

3.4 データ入力状況確認

ログインユーザが都道府県の場合は当該都道府県以下の、ログインユーザが市町村の場合は当該市町村以下の漁港について、データの入力状況を一覧確認できます。データ選択欄の「入力状況確認」をクリックすると、入力状況一覧が表示されます。

市町村	漁港	入力状況	最終更新履歴
浜頓別町	斜内	○	2016/10/06 02:01:21
猿払村	浜猿払	×	2017/01/04 22:01:09
猿払村	知来別	×	2017/01/07 17:51:07
稚内市	宗谷	○	2017/01/01 05:13:20
稚内市	声間	未入力	
稚内市	西稚内	×	2016/11/15 10:57:04
豊富町	稚狭内	未入力	
礼文町	東上泊	×	2017/01/21 22:42:54
礼文町	幌泊	○	2017/01/07 07:54:08
礼文町	浜中	×	2016/10/25 19:23:35
礼文町	須古頓	未入力	
礼文町	西上泊	×	2017/01/05 00:12:36
礼文町	宇遠内	未入力	
礼文町	知床	×	2017/01/03 08:07:59
礼文町	差間	未入力	
礼文町	香深井	×	2017/01/24 12:09:56
礼文町	内路	未入力	
利尻町	新湊	未入力	
利尻町	鰺泊	○	2016/12/12 21:48:17
利尻町	御崎	未入力	
利尻富士町	南浜	○	2016/10/26 10:38:03

図 10 データ入力状況確認

データ入力状況は以下に分類されます。

○: データ入力がエラーのない状態で完了している。

×: データ入力がエラーの発生している状態で終わっている(入力が完了していない)

未入力: データ入力が一度も行われていない。

<試用版制限事項>

※現在、本機能は各漁港についての実際の入力状況を反映しておらず、一覧に表示される入力状況はサンプルデータであり正しいものではありません。(データを更新しても、表示されるデータ入力状況には反映されません)。この点、ご了承ください。

4 漁港背後集落实態調査

4.1 データ選択

機能メニューで「漁港背後集落实態調査」を選択すると、「漁港背後集落实態調査入力」画面に遷移します。

平成29年度水産基盤整備調査委託事業「漁港漁場分野におけるICT技術の活用検討調査」WEBシステム（試用運用版）

全国漁港背後集落实態調査WEB入出力システム

都道府県 北海道 入力状況確認

市町村 函館市

漁港 住吉

漁港番号 1114170

集落 住吉町

(1) 漁村背後集落实態基礎情報

(2) 集落实態

(3) 漁業関係

(4) 漁業集落排水事業実施状況

(5) 防災対策

(6) 地域指定状況

(7) 公共施設等の整備状況

(8) 集落实態

(9) 漁業地域の活性化関係

(10) 漁プラン・広域漁プラン

(11) 水産物流通拠点漁港における業務継続計画関係

(1) 漁村背後集落实態基礎情報

1 都道府県情報

1) 都道府県名 北海道
該当都道府県名を記載すること。

平均財政力指数欄には、各都道府県に所在する過疎市町村の財政力指数（平成24年度～平成26年度平均値）の平均値（小数3位止）を記入すること。 ※ 市町村合併を行っている場合の個別市町村の財政力指数の算出方法
① 平成27年度に合併している場合は、旧市町村の平成24～26年度の平均財政力指数を用いて計算
② 平成26年度に合併している場合は、新市町村の平成26年度単年度の財政力指数を用いて計算
③ 平成25年度に合併している場合は、新市町村の平成25～26年度の2か年の財政力指数を用いて計算

【注意】都道府県内全集落データの入力値が同一であること。

2 市町村情報

1) 市町村名 函館市
平成28年3月現在の市町村名を記載すること。
記載例：〇〇市

2) 旧市町村名
平成20年度以降に合併している市町村については、旧市町村名を記載すること。
記載例：旧△△町

3) 行政人口 266117人
平成27年国勢調査における市町村の人口を記入すること。なお、平成27年国勢調査以降に市町村合併を行っている場合は、旧市町村人口を合算した新市町村人口を記載すること。

図 11 漁港背後集落实態調査入力画面

画面左上で表示・入力するデータを選択します。ログインユーザが都道府県の場合は都道府県がログインユーザが市町村の場合は都道府県・市町村が選択（変更不可）状態となっています。市町村→漁港→集落を順に選択します。

都道府県 北海道

市町村 函館市

漁港 住吉

漁港番号 1114170

集落 住吉町

入力状況確認

図 12 漁港背後集落实態調査データ選択

<試用版制限事項>

※試用版では H28 年度実施の漁港背後集落实態調査データしか格納していないため年度選択はありませんが、複数年度のデータが蓄積された場合は、年度選択も行えるようにいたします。

※市町村で絞り込まれる漁港は管理漁港ではなく、当該市町村に所在する漁港となっています。

※現在の選択方法以外に、漁港名称、漁港番号、集落名称による条件検索の実装を検討しています。

※漁港追加、集落实態追加、集落实態削除に関する機能は現在未実装です。

4.2 データ表示・入力

都道府県～集落が選択されると、該当する漁港背後集落实態調査データが表示されます。

平成29年度水産基礎整備調査委託事業「漁港漁場分野におけるICT技術の活用検討調査」WEBシステム（試行運用版）

全国漁港背後集落实態調査WEB入出力システム

都道府県: 北海道 | 入力状況確認

市町村: 函館市 | 漁港: 住吉 | 漁港番号: 1114170 | 集落: 住吉町

(1)漁村背後集落基礎情報

(2)集落規模

(3)漁業順位

(4)漁業集落排水事業実施状況

(5)防災対策

(6)地域指定状況

(7)公共施設等の整備状況

(8)集落立地状況

(9)漁業地域の活性化関係

(10)浜プラン・広域浜プラン

(11)水産物流通拠点漁港における業務継続計画関係

1) 都道府県情報
1) 都道府県名: 北海道 (該当都道府県名を記載すること。)

2) 都道府県内過疎市町村の平均財政力指数: 0.39
平均財政力指数欄には、各都道府県に所在する過疎市町村の財政力指数（平成24年度～平成26年度平均値）の平均値（小数3位止）を記入すること。※市町村合併を行っている場合の個別市町村の財政力指数の算出方法
①平成27年度に合併している場合は、旧市町村の平成24～26年度の平均財政力指数を用いて計算
②平成26年度に合併している場合は、新市町村の平成26年度単年度の財政力指数を用いて計算
③平成25年度に合併している場合は、新市町村の平成25～26年度の2か年の財政力指数を用いて計算

【注意】都道府県内全集落データの入力値が同一であること。

2) 市町村情報
1) 市町村名: 函館市 (平成28年3月現在の市町村名を記載すること。記載例：〇〇市)
2) 旧市町村名: (平成20年度以降に合併している市町村については、旧市町村名を記載すること。記載例：旧△△町)
3) 行政人口: 266117人 (平成27年国勢調査における市町村の人口を記入すること。なお、平成27年国勢調査以降に市町村合併を行っている場合は、旧市町村人口を合算した新市町村人口を記載すること。)

図 13 漁港背後集落データ表示例

画面左側のデータ種類メニューをクリックすると、該当するデータ種類が表形式で画面右側のデータ表示・入力エリアに表示されます。

- (1)漁村背後集落基礎情報
- (2)集落規模
- (3)漁業順位
- (4)漁業集落排水事業実施状況
- (5)防災対策
- (6)地域指定状況
- (7)公共施設等の整備状況
- (8)集落立地状況
- (9)漁業地域の活性化関係
- (10)浜プラン・広域浜プラン
- (11)水産物流通拠点漁港における業務継続計画関係
- (12)地域防災協議会関係
- (13)避難行動関係
- (14)漁村孤立化関係

図 14 漁港背後集落实態調査データ種類メニュー

データ表示・入力エリアでは、白抜きテキスト入力欄でのデータ入力またはデータ選択項目欄でのデータ選択が可能です。データは入力(修正)すると即時的に WEB 上のデータベースに反映されます。また、データ入力(修正)によって合計値等の値も自動的に計算され反映されます。

図 15 データ表示・入力エリア(データ編集例)

なお、データ入力項目及びデータ選択項目には、調査要領に記載されている項目ごとの記入内容の説明、注意事項を併記し、データ入力・選択がスムーズに行えるように支援します。

図 16 記入内容・注意事項説明例

<試用版制限事項>

- ※複数年次のデータが格納された場合、入力・編集が可能なのは新規調査対象年度に対してのみであり、過去年度データは閲覧参照のみになります。
- ※現存しない漁港、集落のデータが存在するようになった場合、当該漁港または集落に対しての新規調査対象年度データの inputs はできないようにします。
- ※実際の運用ではデータ確認が完了した時点で、データの編集不可とし閲覧参照のみにします。この操作は調査依頼元である水産庁にて実施する予定です。
- ※データ確認後のデータ修正は水産庁のみで可能とする予定です。
- ※調査依頼前に水産庁にて新年度データの inputs を可能な状態にしてから、調査依頼を実施する予定です。

4.3 データエラーチェック

データ表示・入力エリアにて、データ入力時にエラーが発生した場合、当該入力欄を赤くし、データ表示・入力エリア上部にエラー事由を表示します。また、データ種類メニューの色を変えて該当するデータにおいてエラーがあることを示します。

都道府県	北海道	入力状況確認	(2)集落規模
市町村	函館市		[5] ≥ [6]である必要があります。 7が空です。
漁港	住吉		[7] ≥ [8]である必要があります。
漁港番号	1114170		[7] ≥ [10]である必要があります。
集落	住吉町		
(1)漁村背後集落基礎情報			5 集落人口
(2)集落規模			842 人
(3)漁業順位			6 65歳以上人口
(4)漁業集落排水事業実施状況			4060 人
(5)防災対策			7 漁家世帯人口
(6)地域指定状況			人
(7)公共施設等の整備状況			8 漁業就業者数 ここでいう漁業就業者とは、満15歳以上で、 日以上従事した者をいう。
(8)集落立地状況			18 人
(9)漁業地域の活性化関係			
(10)浜プラン・広域浜プラン			
(11)水産物流通拠点漁港における業務継続計画 関係			

図 17 エラーチェック表示例

エラー事由としては以下のものが挙げられます。

- ③ 項目間でデータ不整合・データ矛盾が発生している場合。
- ④ 入力必須項目欄が未入力、または選択必須項目が未選択の場合。

また数値入力欄には、数値以外の文字入力を禁止しています。

<試用版制限事項>

※現在エラーチェックの動作確認は「(2). 集落規模」データのみで可能です。「(2). 集落規模」データの値を変更し、エラーが発生した時の画面表示イメージをご確認ください。(但し、すべての項目間項目にてエラーチェックが正しく動作しない可能性があります。ご了承ください。)

※エラーがある状態でもデータは保存されます。次回以降に当該データを呼び出した時点でエラー状態が再現される予定です。

※エラーが解決されない状態で入力が終わった場合、データベースにエラー状態であることが保存されます。この情報は次項「4.4 データ入力状況確認」で利用されます。

4.4 データ入力状況確認

ログインユーザが都道府県の場合は当該都道府県以下の、ログインユーザが市町村の場合は当該市町村以下の漁港背後集落について、データの入力状況を一覧確認できます。データ選択欄の「入力状況確認」をクリックすると、入力状況一覧が表示されます。

市町村	漁港	集落	入力状況	最終更新履歴
枝幸町	オホーツク枝幸漁港(音標地区)	音標	未入力	
枝幸町	オホーツク枝幸漁港(乙忠部地区)	乙忠部	○	2016/11/03 21:02:23
枝幸町	オホーツク枝幸漁港(山臼地区)	山臼	未入力	
枝幸町	オホーツク枝幸漁港(徳志別地区)	徳志別	未入力	
枝幸町	オホーツク枝幸漁港(岡島地区)	岡島	未入力	
枝幸町	オホーツク枝幸北漁港(間牧地区)	間牧	○	2016/10/20 09:57:20
枝幸町	オホーツク枝幸北漁港(目梨泊地区)	目梨泊	○	2016/10/26 11:09:35
浜頓別町	斜内	斜内	○	2017/01/01 09:50:11
浜頓別町	斜内	豊浜	未入力	
猿払村	浜猿払	浜猿払	×	2016/10/05 20:06:24
猿払村	知来別	知来別	×	2016/10/12 14:13:26
稚内市	宗谷	宗谷	○	2016/11/17 16:37:28
稚内市	宗谷	清浜	未入力	
稚内市	宗谷	壺内	○	2016/11/05 10:03:19
稚内市	声間	声間	未入力	
稚内市	西稚内	西稚内	×	2016/12/11 10:28:07
豊富町	稚咲内	稚咲内	未入力	
礼文町	東上泊	赤岩2	未入力	
礼文町	東上泊	上泊	未入力	
礼文町	東上泊	高山	未入力	
礼文町	幌泊	幌泊	○	2016/10/17 00:44:41

図 18 データ入力状況確認

データ入力状況は以下に分類されます。

○: データ入力がエラーのない状態で完了している。

×: データ入力がエラーの発生している状態で終わっている(入力が完了していない)

未入力: データ入力が一度も行われていない。

<試用版制限事項>

※現在、本機能は各漁港背後集落についての実際の入力状況を反映しておらず、一覧に表示される入力状況はサンプルデータであり正しいものではありません。(データを更新しても、表示されるデータ入力状況には反映されません)。この点、ご了承ください。

漁港関係基礎情報のデータベース化の検討

別紙-2

漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの

試行運用へのアンケート調査について

漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの 試行運用へのアンケート調査について

漁港の港勢調査、漁港背後集落調査については、現在、エクセルシートを利用してデータの入力・チェックしていただき、水産庁へご提出いただいておりますが、今回、WEBシステムを利用してデータ入力・チェックを行ってみたいと考えています。現在の方法と比較したデータ入力、データの活用方法についてのご回答をお願いいたします。

WEBシステムについての使用法については、別紙資料「漁港港勢情報等のWEB利用による試行システム使用方法について」を参照ください。

1. 漁港の港勢調査

1-1 データ入力機能について（主に入力担当者）

現在のエクセルによる入力等の作業上の問題点や、今回の試行システムによるデータ入力機能を使用して見て、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。

1-1-1 現在の問題点

現在、エクセルによりデータを入力した後、メール等で提出していますが、作業上問題となっていることをお教えください。

1-1-2 今回の試行システムを使用した入力についてのご意見

(良かった点)

(悪かった点)

(改善すべき点)

1-2 エラーチェック機能及び集計機能（イメージのみ）について

今回の試行システムにより、入力時及び入力後のエラーチェック機能を使用してみて、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。また、各市町村からの提出状況を確認する集計機能についてもご意見をお聞かせください。

1-2-1 システムを使用してのご意見

（良かった点）

（悪かった点）

（改善すべき点）

1-2-2 データチェックへの追加機能

今回の試行システムによるエラーチェックを行ってみて、データチェックの面から追加してほしい機能をお教えてください。

1-3 システムへの追加機能

漁港港勢情報について、今後 Web システム上で、データを集計し分析するとした場合、現状の試行システムに追加してほしい集計機能・分析機能・データ項目などをお教えてください。

2. 漁港背後集落調査

2-1 データ入力機能について（主に入力担当者）

現在のエクセルによる入力等の作業上の問題点や、今回の試行システムによるデータ入力機能を使用して見て、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。

2-1-1 現在の問題点

現在、エクセルによりデータを入力した後、メール等で提出していますが、作業上問題となっていることをお教えてください。

2-1-2 今回の試行システムを使用した入力についてのご意見

（良かった点）

（悪かった点）

（改善すべき点）

2-2 エラーチェック機能について及び集計機能（イメージのみ）について

今回の試行システムにより、入力時及び入力後のエラーチェック機能を使用してみて、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。また、各市町村からの提出状況を確認する集計機能についてもご意見をお聞かせください。

2-2-1 システムを使用してのご意見

(良かった点)

(悪かった点)

(改善すべき点)

2-2-2 データチェックへの追加機能

今回の試行システムによるエラーチェックを行ってみて、データチェックの面から追加してほしい機能をお教えてください。

2-3 システムへの追加機能

背後集落情報について、今後 Web システム上で、データを集計し分析するとした場合、現状の試行システムに追加してほしい集計機能・分析機能・データ項目などをお教えてください。

3. その他 システムへのご意見・ご要望

3-1 今回の Web システムについてその他ご意見・ご要望をお教えてください。また、実用化に向けて、サーバーの管理（水産庁か水産庁から委託を受けた運営先が管理する予定）やセキュリティ体制などについても、ご意見・ご要望があればおねがいします。

3-2 その他（自由意見）

以上

漁港関係基礎情報のデータベース化の検討

別紙-3

漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの
試行運用へのアンケート調査（回答結果）

漁港の港勢調査にかかるWEBシステムの試行運用へのアンケート調査について

1-1 データ入力機能について(主に入力担当者)

現在のエクセルによる入力等の作業上の問題点や、今回の試行システムによるデータ入力機能を使用して、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。

1-1-1(現在の問題点) 現在、エクセルによりデータを入力した後、メール等で提出していますが、作業上問題となっていることを教えてください。

都道府県名	回 答
北海道	・特になし
神奈川県	・調査表のセル間の数値一致チェックがエラーを出した場合、その都度調査要領で原因を確認しなければならず、新しく担当した職員にとってはやや煩雑。 ・調査表を両面印刷でプリントアウトする際に、シート毎に印刷設定を変える必要があるため、時間がかかっている。
三浦市	・特になし
新潟県	・データ収集及び入力は市町村に依頼しているが、入力間違いがままあり、チェック作業に手間がかかっている。
佐渡市	・エクセルで作業中にエラーで終了してしまうことがある。
島根県	(県管理・市町村管理漁港共通の問題点について) ・漁協が集計している漁獲量及び陸揚量のデータを港勢調査の様式・項目に仕分けてデータを入力するのに多大な時間を要す。 (県管理漁港の問題点について) ・県管理漁港においては、集計する漁獲量等のデータが膨大であることから作業の効率化を図るために県独自で漁船登録データと漁獲量を管理するTACデータを基礎データとして港勢調査の様式に集計するシステムを開発しH13年度より運用している。しかし、国の調査様式はシステム開発当時から大きく変更され、システムで集計されたデータを現行の調査様式に補正する作業に時間を要すようになった。そのため、システムのプログラムを改修して集計様式を現行の国の調査様式に合わせることを検討している。
香川県	・データ登録、登録データ一覧から引き出してくる時間が長すぎる。 ・よくフリーズを起こしている。 ・表題のところにエラーがわかるようになっていない。
高松市	・特になし
愛媛県	・読み込みに時間がかかる。 ・データ登録やデータ読み込み等、操作方法が分かりにくい。(引継時に困る)
宇和島市	・入力済みデータの読み込みに時間が掛かっている。 ・エラー箇所の把握が難しい。(担当者異動時の説明)
高知県	・特になし
長崎県	・セルが赤く表示されるエラー表示について、エラーの内容がわからない。 ・長崎県では独自のWEBシステムを運用しているため、システム上に数値を入力し、データをエクセルに出力する方法を用いている。 (詳細については、3-2その他自由意見の欄に記載)
熊本県	・ヒューマンエラーが生じやすい ・印刷に時間がかかる
天草市	・作成したデータを修正する際、フォルダから抽出するが、抽出に時間がかかる。 ・登録データを確認する際、データを抽出してからしばらくすると、登録データを見れなくなるエラーが発生する。
鹿児島県	・当県は漁港数が多いため、テキストデータの抽出や読み込みに時間がかかっている。
沖縄県	・特になし
水産庁担当	・都道府県から提出されるデータはエクセルデータをテキストデータに変換したものとなり、それを集計するためにマイクロソフトアクセスのデータベースに取り込む作業を行っている。 そのため、とりまとめにあたり業務委託をする必要があるほか、エラーチェックについても手動で行う必要があるなど、非常に煩雑であった(エラーが出た場合、都道府県担当者へ再度修正作業をして頂く必要があり、そのやり取りにも時間を要する)。

漁港の港勢調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

1-1 データ入力機能について(主に入力担当者)

現在のエクセルによる入力等の作業上の問題点や、今回の試用システムによるデータ入力機能を使用して、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。

1-1-2 今回の試用システムを使用した入力についてのご意見(良かった点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	・項目ごとにヘルプアイコンがあること。(何度も調査要領を見なくてすむ)	○ (試用制限外対応)
神奈川県	・数値を入力すべき欄が明確な白枠で示されており、入力担当者にとっては作業が容易に思える点。	-
三浦市	・ヘルプアイコンが解りやすく便利	○(北海道に同じ) (試用制限外対応)
佐渡市	・入力がスムーズにできた。	-
島根県	(1) ・入力画面がすっきりして見やすい	-
	(2) ・画面上に記入説明等があり分かりやすい。	○(北海道に同じ) (試用制限外対応)
香川県	・全市町の入力状況がわかる。	-
高松市	(1) ・入力箇所が分かりやすい	-
	(2) ・データ出力の時間削減	-
愛媛県	・システム自体の動作速度が速くなった。	-
宇和島市	(1) ・既存データの読み込みが早くなった。	-
	(2) ・過年度データ閲覧が容易になった。	-
	(3) ・入力箇所が明確になり分かりやすくなった。	-
高知県	・入力項目がわかりやすい。	-
長崎県	(1) ・ヘルプアイコン(？マーク)をクリックすると、その用語についての解説を確認できる点。	○(北海道に同じ) (試用制限外対応)
	(2) ・背景が黒色、記入する箇所は白色と明確に色分けされているので、どこに何の数値を記入したらよいか分かりやすかった点。	-
熊本県	・直感的に作業しやすい	-
天草市	(1) ・ヘルプ機能は便利である	○(北海道に同じ) (試用制限外対応)
	(2) ・過去の分まで一括して見られるのは便利である。	-

鹿児島県	(1)・読み込み時間が短い。	-
	(2)・従来のエクセルファイルに比べて、検索年度や漁港の変更をしやすい。	-
水産庁担当	(1)・エラーチェックが自動で行われるため、再修正の手間が省ける。	-
	(2)・操作性としてはエクセル版と大して変わらないので、WEB化による影響は少ないのではないと思われる。	-

漁港の港勢調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

1-1 データ入力機能について(主に入力担当者)

現在のエクセルによる入力等の作業上の問題点や、今回の試用システムによるデータ入力機能を使用して、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。

1-1-2 今回の試用システムを使用した入力についてのご意見(悪かった点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	(1) ・当方(道)のシステム上の都合もあると思いますが、やや重く、動作に時間を要することがあります。30分で切断されてしまうので(これも道のシステムの都合)、作業に余裕がありません。	△
	(2) ・登録、利用漁船の総t数入力で、小数点以下が入力できないようです。(コピペは可能)	◎
	(3) ・総t数については、入力済みの少数以下が切り上げられているものもあるようです。(19.98が20となって階層エラー表示されている)	◎
	(4) ・陸揚量(漁業種類別、魚種別)の表示が崩れます。表示サイズを小さくすることで解決しますが、¥	◎
	(5) ・漁業種類別の19-27の列がずれています。	◎
	(6) ・魚種別陸揚量の表のうち、金額の欄が一部魚種のみとなっています。	◎
三浦市	・添付のとおり、3、魚種別陸揚量(属地数量)の表がうまく表示されない。	◎ (北海道(4)に同じ)
新潟県	(1) ・市町村や漁港名のタブから選択しようとした際、頻繁に「Error: Gateway Timeout」と表示され選択できなくなる。	△
	(2) ・「1kg当たり陸揚金額」が表示されない。	◎
	(3) ・数値を変更した際に合計値に反映されたりされなかったりする。	○
	(4) ・ブラウザのサイズを変更した際などに、表題の「全国～システム」の文字が枠からはみ出る。	◎ (北海道(4)に同じ)
島根県	・画面左側のデータ種類メニューで、各項目をクリックした時に画面が一番上の部分に自動的にスクロールしてしまう	△
香川県	・印刷の機能ボタンがわからなかった。	□
宇和島市	・(3)魚種別陸揚量(属地数量)の入力画面でIEのお気に入り等を表示していると、文字が重なって表示される。 ・コメント表示があり、便利になった。	◎ (北海道(4)に同じ)
高知県	・各市町村、漁協が資料作成を行うため、入力データの収集方法に検討が必要。	△
長崎県	・システムの改修が必要となる場合は、その改修作業にも時間を要するため、現状よりも時間が必要になることが懸念される点。	—
天草市	(1) ・数値の修正をする際、小数点は入力できなくてエラーになってしまった。	◎ (北海道(2)に同じ)
	(2) ・船舶のトン数が、かなりの桁数で表示されていて見づらい。	◎ (北海道(3)に同じ)
鹿児島県	・表示ページを項目ごとに細かく分けすぎていて、ページ変更を何度もしないといけないところが面倒。	△
沖縄県	・1. 登録・利用漁船で、漁船トン数の小数点が入力できない、複数のシートで入力した数値からの自動計算が間違っている、シート自体がおかしい等、システムが中途半端な状態のため、非常に使いづらく、実際の使用感についてはわからない。	○ (試用制限外対応)

漁港の港勢調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

1-1 データ入力機能について(主に入力担当者)

現在のエクセルによる入力等の作業上の問題点や、今回の試用システムによるデータ入力機能を使用して、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。

1-1-2 今回の試用システムを使用した入力についてのご意見(改善すべき点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	(1) ・上記(悪かった点)	△・◎
	(2) ・現行調査票の陸揚量の入力項目にある「自由記入欄」は残して欲しい	△
神奈川県	・入力担当者にとって、入力数値の元データとなる資料と入力された数値のチェックを行う際に、紙ベースで作業をしたいので、通常のExcelと同等のプリントアウト機能が欲しい。	□ (1-1-2 悪かった点 香川県に同じ)
三浦市	・5、出荷先別配分量比率の比率パーセントが自動計算されない。 ・6、市町村人口及び漁港地区人口等の集計番号4・7がない。	◎
新潟県	・「悪かった点」に同じ。	—
佐渡市	・総トン数に小数点入力ができない。	◎ (1-1-2 悪かった点 北海道(2)に同じ)
島根県	・画面左側のデータ種類メニューと画面右側のデータ表示・入力エリアを別ウインドウで表示できないか	△ (1-1-2 悪かった点 島根県に同じ)
高松市	・印刷機能の追加	◎ (1-1-2 悪かった点 香川県に同じ)
愛媛県	(1) ・作業を終了するとき、どうすればいいのかわからない。(いきなり「×」でページを閉じてもいいのか?)	△
	(2) ・「外来漁船の主な所属地」の「漁港・港湾番号」の記入欄が狭いので、文字が切れている。	◎
	(3) ・行間が広すぎるので、全体を見るときにスクロールをしないとけない。	△
	(4) ・左側のメニュー画面はスクロールなしで表示出来るようにして欲しい。	△
宇和島市	(1) ・各入力画面に「使用した資料名等」の入力欄がほしい。	△ (北海道(2)に同じ)
	(2) ・保存ボタンか終了ボタンがほしい。	△
	(3) ・過年度閲覧時には、画面に文字表示か色等で識別してほしい。	—
	(4) ・入力データをエクセルかCSV等で出力してほしい。	○ (1-1-2 悪かった点 香川県に同じ)
	(5) ・いつ当該年度入力が出来なくなるのか(提出期限)、また、いつから閲覧モード(提出期限後)に変わるのか。	△
高知県	・誰がどこを修正したのかわかるようにならないか。 確認したところ、どこの集落をいつ修正したことかわからない。	△

長崎県	(1)	・過去年度の入力データを更新しようと思ひ、数値を修正してみたところ、小数点以下の数値を入力できない。	◎ (1-1-2 悪かった点 北海道(2)に同じ)
	(2)	・年度によっては、1. 登録・利用漁船や2. 漁港の利用状況などに記載されている総トン数が正しく表示されない(小数点以下が何桁も表示される)。	◎ (1-1-2 悪かった点 北海道(3)に同じ)
	(3)	・年度によっては、3. (3)魚種別陸揚量(属地数量)の表が崩れて表示される。	◎ (1-1-2 悪かった点 北海道(4)に同じ)
	(4)	・入力状況確認について、市町村順に表示されれば確認しやすいのではないか。	△
	(5)	・年度選択のプルダウンは、降順(現在から遡る形)のほうがよいのではないか。	○・△
熊本県	(1)	・漁船の総トン数に小数点が打てない	◎ (1-1-2 悪かった点 北海道(2)に同じ)
	(2)	・年度はプルダウンで新しいものを上にしてもらいたい。また、2014(H23)等和暦でも表示してもらいたい。	○・△ (長崎県(5)に同じ)
	(3)	・外来漁船の主な所属地について、漁港番号を打てば○○漁港と表示してもらいたい。	○
	(4)	・属人漁獲量等の総数の計算結果で小数点以下に不明な数字が表示されている。	◎ (1-1-2 悪かった点 北海道(3)に同じ)
	(5)	・機能メニューに戻るボタンが欲しい。	○
天草市		・悪かった点の二つ。	◎
鹿児島県		・ページによっては、文字同士が重なっているところがある。	◎ (1-1-2 悪かった点 北海道(4)に同じ)
		・システム上で、調査表部分のみを印刷できるようにしてほしい。	◎ (1-1-2 悪かった点 香川県に同じ)
沖縄県		・数値入力後、enter key で隣(下)のセルに入力可能な状態になった方がよい	△
水産庁担当		・作業対象となる漁港を指定する際、市町村を選択しないと漁港名が表示されないため、不便である。実務的には、「都道府県名」→「漁港名」を選択する流れなので、改善する必要がある。	△
		・年度を選択する際の並びが、「1989年～(古い順)」となっているが、実務的には古いデータを閲覧する機会は少ないため、「2015年～(新しい順)」に並び替えの方がよいと考える。	○ (長崎県(5)に同じ)
		・3(3)魚種別陸揚量(属地数量)の欄が文字化けしている。	◎ (1-1-2 悪かった点 北海道(4)に同じ)?

漁港の港勢調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

1-2 エラーチェック機能及び集計機能(イメージのみ)について
 今回の試用システムにより、入力時及び入力後のエラーチェック機能を使用してみて、
 良かった点、悪かった点、改善すべき点についてお聞かせください。また、各市町村からの提出状況を確認する
 集計機能についてもご意見をお聞かせください。

1-2-1 システムを使用してのご意見(良かった点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
神奈川県	(1) ・入力数値がリアルタイムで合計値に反映されるため、エラーにすぐ気づくことができる点。	—
	(2) ・各市町村からの提出状況が一覧で確認できる機能は、今回のシステムでもっとも良い機能だと感じた。特に、入力担当者の最新更新日時が把握できる点が、取り纏めを行う県の担当者としてはとても助かる。	△ (1-1-2 改善すべき点 長崎(4)も参照のこと)
新潟県	・入力エラー(数値の矛盾)が即座に判定され赤色で表示されるのがわかりやすい。	—
島根県	・エラー表示が見やすかった	—
香川県	・色づけしている点はわかりやすい。	—
高松市	・エラー箇所が分かりやすい	—
愛媛県	・エラーがある場合に左側の項目がピンクになるため、どこにエラーがあるのかが一目でわかるので、チェックしやすい。	—
宇和島市	・エラーの判断箇所が文字と色で分かりやすくなった。	—
長崎県	・入力欄が赤くエラー表示されるため、どこにエラーがあるか分かりやすかった点。	—
熊本県	・エクセルよりエラーとなっている場所が判りやすい。	—
天草市	・各漁港でどの漁港が未入力なのか、エラーが出てくるのか、一覧で見ることができるのは便利である。	△ (神奈川県(2)に同じ)
鹿児島県	・エラーが出た場合はセルが着色されているので、わかりやすい。	—
沖縄県	・各市町村の提出状況が確認できるのはよい	△ (神奈川県(2)に同じ)
水産庁担当	・瞬時にエラーが把握出来る(入力ミス防止に寄与)	—

漁港の港勢調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

1-2 エラーチェック機能及び集計機能(イメージのみ)について

今回の試用システムにより、入力時及び入力後のエラーチェック機能を使用してみて、良かった点、悪かった点、改善すべき点についてお聞かせください。また、各市町村からの提出状況を確認する集計機能についてもご意見をお聞かせください。

1-2-1 システムを使用してのご意見(悪かった点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	・利用漁船で反応せず。	◎
香川県	・エラーが出ているのかどうか怪しい。	○ (試用制限外対応)
天草市	・入力状況確認時、入力画面の上に重なって表示されるため、分かりづらい。	△
沖縄県	・今回エラーチェック機能が1ヶ所のみで、既存のエクセルシートでもエラー表示される部分だったため、比較のしようがない。	○(1-1-2 悪かった点 沖縄に同じ) (試用制限外対応)

漁港の港勢調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

1-2 エラーチェック機能及び集計機能(イメージのみ)について

今回の試用システムにより、入力時及び入力後のエラーチェック機能を使用してみて、良かった点、悪かった点、改善すべき点についてお聞かせください。また、各市町村からの提出状況を確認する集計機能についてもご意見をお聞かせください。

1-2-1 システムを使用してのご意見(改善すべき点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回答	今後の対応
北海道	・道では全道の漁港を管理していますが、実務では12の振興局で分担しています。従って、振興局で入力、本庁(漁港漁村課)で確認する作業となるので、実態に応じた作業が可能となるよう、改良を希望します。 また、それに応じてIDの配布もお願いしたい。	△
神奈川県	・エラーの赤字が、作業画面の外にある場合、気づかずに入力作業を進めてしまう可能性があるため、作業画面の移動に関わらず、常に認識できる場所(例えば、左上に緑の●がエラー時には赤の●に変わる欄を設け、エラーが発生した箇所を指示するなど。)にエラー表示専用欄を設けるなどしてほしい。	△
佐渡市	・エラー内容の表示が上部にあり、エラー箇所によっては画面上でスクロールしないと内容が確認できない。	△ (神奈川県に同じ)
香川県	・エラーの説明がほしい。	○(1-2-1 悪かった点 香川県に同じか?) (試用制限外対応)
愛媛県	(1) ・現在のデータ入力状況の確認方法では、「データ入力は途中だが、エラーのない状態で終了(中断)している」場合も「○」で表示されるのではないかと想像するので、「入力完了ボタン」のような物が必要ではないでしょうか。	○
	(2) ・本県は漁港数が多いため、県担当者として、「内容確認状況」が分かる表示が欲しい。	△
長崎県	・エラーに関する文言が表示されないことがあった。	○(1-2-1 悪かった点 香川県に同じ) (試用制限外対応)
天草市	・悪かった点	-
沖縄県	・入力状況確認画面の×をクリックすることで、該当漁港のデータを確認できるようになる	△

漁港の港勢調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

1-2-2 データチェックの追加機能
 今回の試用システムによるエラーチェックを行ってみて、データチェックの面から追加してほしい機能をお教えてください。

＜今後の対応＝◎：今年度修正、○：要修正、△：運用方法・仕様検討、□：機能追加＞

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	(1) ・総t数の入力は少数点第1位で固定。	○ (試用制限外対応)
	(2) ・「入力状況」表でプルダウンでの絞り込みの設定。(道としては、振興局ごとの絞り込みが出来るとう助かります。)	○ (1-1-2 改善すべき点 長崎県(4)も参照)
	(3) ・「入力状況」の漁港名からその漁港のデータ(入力画面)へジャンプ。	△ (1-2-1 改善すべき点 沖縄に同じ)
神奈川県	(1) ・前年度の数値と異なる数値を赤字で表示する選択機能がほしい。	△
	(2) ・前年度の数値と桁違いに変動がある数値を黄文字で表示する選択機能がほしい。	△
新潟県	・エラーのある状態では上書き保存できない、あるいは警告メッセージが出る等にできると。	—
佐渡市	・前年比の大幅増減(20%超など)が分かるとよいと思います。	△ (神奈川県(2)に同じ)
島根県	・前年度及び過去5年間平均のデータを表示する機能があればよい	△
香川県	・色づけに加えて、どこと合致していないのかの表示。	○(1-2-1 悪かった点 香川県に同じ) (試用制限外対応)
愛媛県	・表示項目が少ないため、内容確認に時間がかかる。	△ (1-1-2 悪かった点 鹿児島と同内容とする)
宇和島市	・前年データと大きく差が出た箇所の表示がほしい。	△ (神奈川県(2)に同じ)
高知県	・前年度のデータを横に記載しておいてほしい。	△ (神奈川県(1)に同じ)
熊本県	・漁業種別陸揚げ量、魚種別陸揚げ量、属地陸揚げ量内訳属地陸揚げ量と差異がある場合もエラー表示してもらいたい。	○ (試用制限外対応)
天草市	・一日の最大陸揚げ量を記載する欄が二つあるが、そこへ入力する際、漁種と漁獲量、盛漁期から矛盾があればエラーが出るような機能があると便利だと思う。	○(熊本県に同じ) (試用制限外対応)
沖縄県	・上記のとおり、試用システムではエラーチェック機能自体の使用感がわからないため、追加機能についてもイメージできない。	○(1-1-2 悪かった点 沖縄に同じ) (試用制限外対応)

漁港の港勢調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

1-3 システムへの追加機能
 漁港港勢情報について、今後Webシステム上で、データを集計し分析とした場合、現状の
 試用システムに追加してほしい集計機能・分析機能・データ項目などをお教えてください。

<今後の対応◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	(1) ・分区等複数施設がある漁港について、個々の施設の情報入力により合冊分の自動作成。	△
	(2) ・港勢概要の出力 (漁港名、番号、所在地、漁船数、陸揚量、金額(上位3位程度)、等)	△
	(3) ・一覧作成機能 (直近3年程度の漁船数、陸揚量、金額など、必要項目を選択。Excel出力)	△
	(4) ・入力したデータを港勢調査表様式で印刷する機能	□ (1-1-2 悪かった点 香川県に同じ)
神奈川県	(1) ・現在、神奈川県では、「漁港の港勢調査」に併せ、「漁港内のヨット等の隻数、ヨット等への対応方針」の調査も実施しているため、今回のシステム開発に当たって、漁港内の漁船以外の船舶に関するデータも扱えるようにすれば、漁港管理上、より広い有用性を持つシステムになるのではないかと思う。	△ (北海道(3)に同じ)
	(2) ・また、神奈川県では、「漁港の港勢調査」に併せ、「漁港内のヨット等の隻数、ヨット等への対応方針」の調査も実施しているため、今回のシステム開発に当たって、漁港内の漁船以外の船舶に関するデータも扱えるようにすれば、漁港管理上、より広い有用性を持つシステムになるのではないかと思う。	△
新潟県	・漁港ごとの登録漁船数や漁獲量などの経年推移が簡単に表示できるとよい。	△ (北海道(3)に同じ)
佐渡市	(1) ・現様式への出力。	□ (1-1-2 悪かった点 香川県に同じ)
	(2) ・事業計画策定のために必要な項目の抽出	△ (北海道(3)に同じ)
香川県	過去のデータの引用機能	△ 使用目的により(1-2-2 神奈川県(1)に同じ)or(北海道(3)に同じ)
高松市	去年度データとの比較(量)	△ 使用目的により(1-2-2 神奈川県(1)に同じ)or(北海道(3)に同じ)
愛媛県	(1) ・前年度との比較が出来るようにしてほしい。	△ (1-2-2 神奈川県(1)に同じ)
	(2) ・他漁港との比較や事業化時の参考にしたいので、一覧表(登録・利用・属地陸揚量・ 属地陸揚金額等、事業計画書に記載する内容が分かるもの)を作成したい。	△ (北海道(3)に同じ)
	(3) ・エクセル出力機能(表示項目を調整したり編集出来るもの)が欲しい。	△ (1-1-2 悪かった点 香川県に同じ)
	(4) ・帳票出力機能(PDFでも可)が欲しい。	□ (1-1-2 悪かった点 香川県に同じ)
	(5) ・「外来漁船の主な所属地」において、漁港・港湾番号を入力したときに漁港名・港湾名を表示してほしい。	○ (1-1-2 改善すべき点 熊本県(3)に同じ)
宇和島市	(1) ・過年度のデータ集計や出力、将来の予測(船舶)が出来ないか。	△ (北海道(3)に同じ)
	(2) ・前年データとの差異の表示がほしい。	△ 使用目的により(1-2-2 神奈川県(1)に同じ)or(北海道(3)に同じ)
長崎県	(1) ・システム上に「システム説明書」やQ&A集等があれば、不明な点をすぐに確認できるのでは。	△
	(2) ・複数の市町、複数の漁港を指定しての集計	○
熊本県	(1) ・まとめて印刷できる機能が欲しい(県内すべてや市町ごと)	△
	(2) ・複数年度の平均を出力する機能が欲しい。	△ (北海道(3)に同じ)
	(3) ・県内漁港のデータを一覧表で出力する機能が欲しい。	△ (北海道(3)に同じ)
	(4) ・大きく数値が変わっている箇所を把握するため過年度との比較を行う機能が欲しい。	△ (1-2-2 神奈川県(2)、または、北海道(3)に同じ)

天草市		・現在天草市ではインターネットに接続する際、熊本県が一括管理しているクラウドを通し、仮想のデスクトップからしか接続できないため、各支所から集められたデータを直接手入力で入力するのはかなりの時間と、入力ミスが生じてしまう可能性がある。エクセルを読み込めるような機能を付けるか、各支所ごとに入力できるように依頼文に記載していただくと、各支所にも依頼しやすいと思う。	△
鹿児島県		・他年度との比較機能。	△ (北海道(3)に同じ)
沖縄県	(1)	・前年または過年度データとの比較が可能一覧表示	△ (北海道(3)に同じ)
	(2)	・県内漁港で比較可能一覧表示	△ (北海道(3)に同じ)
	(3)	・3(2)、(3)でこれまで記載欄のあった、その他の内訳のデータ表示	○
	(4)	・プリントアウトを想定したページ構成	□
	(5)	(特記事項) 現在沖縄県では、各市町村が作成したデータを、県でチェックした後に水産庁へ提出している。チェック段階においてミスが散見されることから、今後WEBシステムに移行した場合においても、県のチェックが必要だと考えている。入力した市町村がデータ確認を行う前に、県でチェックすることが可能であれば、水産庁での修正作業が膨大になることが懸念される。また、これまで通りの作業をし、最終的に入力となると作業が1つ増えることになり、市町村の反発が予想される。	△ (→1-2-1 改善すべき点 愛媛県(2)を参照)
	(6)	一方、これまでのエクセルから変換したテキストファイルをもとに、県の概要版(冊子)を作成しており、テキストファイルがなくなると、概要版の作成に支障を来す。	△
水産庁担当		・港勢調査のデータについては、魚種別産地別のランキングを調べる等、様々な用途で活用することから、編集可能なデータが取り出せるように機能を追加して欲しい(具体的なデータの提供が必要な場合、問い合わせ下さい)。	△

漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試行運用へのアンケート調査について

2-1 データ入力機能について(主に入力担当者)

現在のエクセルによる入力等の作業上の問題点や、今回の試行システムによるデータ入力機能を使用して、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。

2-1-1(現在の問題点) 現在、エクセルによりデータを入力した後、メール等で提出していますが、作業上問題となっていることを教えてください。

都道府県名	回 答
北海道	・設問内容の記載が少ない単純な表形式のため、回答欄ズレなど入力ミスがある。
神奈川県	・提出されたデータを、回答用のエクセルデータに貼付けする際ミスが発生しないよう確認するのに時間を要する。
佐渡市	・集落数と項目数が多くなり、入力位置がずれてしまうことがある。
島根県	<p>本業務の流れは下記のとおりである。</p> <p>① 市町村へ依頼(エクセルデータ送付:前年度の数値入り)</p> <p>② 市町村で記入(前年度数値→今年度数値)</p> <p>③ 本課へ提出(前年度と変わったところを赤字)</p> <p>④ 本課でチェックし、不備や不明な点があれば再度市町村へ確認又は修正依頼</p> <p>⑤ 本課で市町村のデータをとりまとめ</p> <p>・本課と市町村とでデータのやりとりが多い。</p> <p>・本課でとりまとめるときに転記ミス等が発生する可能性が高い。</p> <p>・チェックに時間を要する。</p> <p>※前年度と変わったところを赤字でお願いしているが徹底されない。</p> <p>調査要領では、「前回資料等と比較して大きく違いがある場合は入力データの妥当性を確認すること」となっているが、その必要性の判断が不明確。</p>
愛媛県	・入力シートと前年度との比較シートが別なので、チェックに手間がかかる。
宇和島市	<p>・漁港数が多く、表示画面が小さいため入力時にミスが多い。</p> <p>・他市町のデータが有り、当市のみ切り替える必要がある。</p> <p>・漁港種別毎になっており、市町毎になっていない。</p>
長崎県	<p>・「地区別チェック」欄において、入力数値の整合性を確認するが、「○」及び「×」だけの表示(エラー着色等なし)となっているため、エラー箇所がわかりにくく、担当者による確認漏れが発生しやすい。</p> <p>・当県の組織上、</p> <p>①水産庁より当課へ調査依頼</p> <p>②当課より各市町へ作業依頼(漁業集落排水関係の主体は、市町のため)</p> <p>③各市町より当課へ資料の提出(報告)</p> <p>④資料の確認及び修正後、当課より水産庁へ資料の提出</p> <p>という流れで、調査を実施しており、取りまとめ及び報告に時間を要する。</p>
熊本県	<p>・ヒューマンエラーが生じやすい</p> <p>・印刷に時間がかかる</p>
天草市	・各漁港にNO.を付してあるが、漁港種別となっているため、天草市の場合NO.82～92、NO.99～130、NO.155～159、NO.161～171、NO.177～183となっていて入力欄を間違えやすい。
鹿児島県	・対象箇所が多く、エクセル様式に入力する段階においてミスが懸念される。そのため、入力ミスが無い最終的に確認する作業に時間を要した。
沖縄県	・対象集落が多数(122集落)のため、エクセルでデータを入力する場合、隣り合った上下の行(集落)に誤入力する恐れがある。

漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

2-1 データ入力機能について(主に入力担当者)

現在のエクセルによる入力等の作業上の問題点や、今回の試用システムによるデータ入力機能を使用して、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。

2-1-2 今回の試用システムを使用した入力についてのご意見(良かった点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	・単純な表ではなく設問直下に回答欄があることから入力ミスを起こしにくい。	—
神奈川県	・データ入力状況確認ができるので良い。	—
佐渡市	・多数の集落について同じ項目が変更になる場合、1集落ずつ選択していくのが大変	△
島根県	(1) ・入力欄を間違えるなどの入力ミスが減る。	—
	(2) ・画面上に記入説明等があり分かりやすい。	—
	(3) ・とりまとめ作業が無くなる。	—
高松市	・入力箇所右側の説明があるので、入力しやすい	—
愛媛県	・入力項目の説明書きが同一画面表示になったので、わかりやすくなった。	—
宇和島市	(1) ・入力が簡単になった。	—
	(2) ・当市のみデータとなった。	—
高知県	・入力項目がわかりやすい。	—
長崎県	・不整合箇所がある場合、赤色でエラー表示されるため、整合がとれていない箇所が分かりやすく、確認漏れの発生を防ぐことができる。	○ (試用制限外対応)
熊本県	(1) ・エラーが確認しやすい	○(長崎県に同じ) (試用制限外対応)
	(2) ・エクセルより操作しやすい	—
天草市	・これまでのエクセル形式と違い入力項目が大きく表示されるので分かりやすい。	—
鹿児島県	(1) ・入力対象箇所が白抜きされるなど、エクセルに比べると見やすい。また、エラーの表示されることも併せて良いと感じた。	○(北海道、長崎県に同じ) (試用制限外対応)
	(2) ・データ入力状況も一覧になり、最終更新履歴表示も作業上、途中で中断しても、再開する際にわかりやすい。	—
沖縄県	(1) ・集落ごとにデータを入力するため、誤入力が少なくなると思われる。	—
	(2) ・項目ごとに記入内容についての説明及び注意事項等がありわかりやすい。	—

漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

2-1 データ入力機能について(主に入力担当者)

現在のエクセルによる入力等の作業上の問題点や、今回の試用システムによるデータ入力機能を使用して、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。

2-1-2 今回の試用システムを使用した入力についてのご意見(悪かった点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	(1) 1)データ種類メニューが細分化され過ぎていて画面の切り替え作業が多すぎる。 数件の入力では問題がないが、数百件入力することを考慮すると作業効率が悪い。	△
	(2) 2)デュアルディスプレイ環境で使用しており、本システムをカレントにする際、 画面をクリックする必要があるが、その際、選択回答のチェックが移動してしまう。	◎
新潟県	・ブラウザのサイズを変更した際などに、表題の「全国～システム」の文字が枠からはみ出る。	◎
佐渡市	・多数の集落について同じ項目が変更になる場合、1集落ずつ選択していくのが大変	△ (2-1-2(良かった点)佐渡市に同じ)
島根県	・前回数値との比較ができない。	△
愛媛県	・前年度との比較シートがなくなったので、チェックがより煩雑になった	△ (島根県に同じ)
宇和島市	・タブなどで入力切り替え・スクロールが増え、入力時間の増加となった。	△ (北海道(1)に同じ)、 また、2-1-2(良かった点)の北海道も要参照
高知県	・背後集落調査等については、各市町村が資料作成を行うため、入力データの収集方法に検討が必要。	△
沖縄県	・集落削除等に関する機能が未実装のため、作業イメージができない。	○ (試用制限外対応)

漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

2-1 データ入力機能について(主に入力担当者)

現在のエクセルによる入力等の作業上の問題点や、今回の試用システムによるデータ入力機能を使用して、良かった点、悪かった点、改善すべき点などについてお聞かせください。

2-1-2 今回の試用システムを使用した入力についてのご意見(改善すべき点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	(1) 1)メニューを集約化する。(例「(1)基礎情報」から「(3)漁業順位」まで一つのメニューとする。)	△ (2-1-2(悪かった点)北海道(1)に同じ)
	(2) 2)チェックにより回答する設問については、選択範囲(クリックする範囲)を限定する。(小さくする。)	◎ (2-1-2(悪かった点)北海道(2)に同じ)
	(3) 3)浜プラン・広域浜プランの地区名表示範囲を広げてほしい。(入力は可能であるが、確認がしにくい。)設問65-2組織名も同様	◎
	(1) 4)設問57などのように前の設問の回答により回答が限定される・不要となる場合、自動的に反映させてほしい。	○ (試用制限外対応)
	(2) 設問18の南海トラフと日本海溝・千島海溝周辺の各地域は、市町村により指定されているので、基本情報で市町村選択時に自動的に反映してほしい。	△ (2-1-2(良かった点)佐渡市を参照)
新潟県	・「悪かった点」に同じ。	◎
佐渡市	・漁港を選択する際に漁港番号順になっていない。	◎
島根県	(1) ・入力データの妥当性(前回比較)について容易に判断できるようにしてほしい。	△ (2-1-2(悪かった点)島根県に同じ)
	(2) また、妥当性(前回比較)について確認内容等を記入する欄を追加してほしい。	△
	(3) ・左の大項目のタグ(?)について、記入(表示)中の大項目は色が変わるようにしてほしい。	△
高松市	(1) ・全漁港の全項目が一覧で見える機能の追加	△
	(2) ・印刷機能の追加	□
愛媛県	(1) ・左側のメニュー画面はスクロールなしで表示出来るようにしてほしい。	-
	(2) ・作業を終了するときに、どうすればいいのか分からない。(いきなり「×」でページを閉じてもいいのか?)	△
宇和島市	(1) ・同じ入力事項(財政力指数、人口等)を地区毎・漁港毎で入力ではなく、市町村単位で1箇所入力してほしい	△ (2-1-2(良かった点)佐渡市を参照)
	(2) ・保存ボタンか終了ボタンがほしい。	-
	(3) ・過年度閲覧時には、画面に文字表示か色等で識別してほしい。	△
	(4) ・入力データをエクセルかCSV等で出力してほしい。	○ (高松市(1)に同じ)
	(5) ・いつ当該年度入力が出来なくなるのか(提出期限)、また、いつから閲覧モード(提出期限後)に変わるのか。	△
高知県	・改善点となるのかわからないが、市町村が入力を行った場合に、誰がどこを修正したのかわかるようにならないか。確認したところ、どこの集落をいつ修正したことか分からない。	△
長崎県	・「財政力指数」の少数3位止めなど、入力規則がある入力データ項目については、入力規制と異なる入力した場合もエラーとして表示があればよい。	○ (試用制限外対応)
鹿児島県	・(試用版制限事項)に記載のあるように、市町村⇒漁港⇒集落の順に選択する機能について、漁港もしくは集落を選択すると、その他も自動表示されるように出来れば、更に良いと感じた。	○

沖縄県	(1) ・前年度数値が表示していると比較することができるため、テキスト入力欄横に前年度数値を表示してもらいたい。	△ (2-1-2(悪かった点) 島根県に同じ)
	(2) ・入力データについて、補足説明ができるよう自由記述欄等を設けてもらいたい。	△
水産庁担当	・選択肢が設定されている項目について、「把握していない」や「不明」といった回答の場合があるが、このような回答についても対応できる仕様にしていきたい。	△

漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

2-2 エラーチェック機能及び集計機能(イメージのみ)について

今回の試用システムにより、入力時及び入力後のエラーチェック機能を使用してみて、良かった点、悪かった点、改善すべき点についてお聞かせください。
また、各市町村からの提出状況を確認する集計機能についてもご意見をお聞かせください。

2-2-1 システムを使用してのご意見(良かった点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	・入力時にすぐにエラーが分かるので入力ミスがない	○ (試用制限外対応)
神奈川県	・入力状況確認でエラーが判明すれば取りまとめする際のエラーはないはずなので良い。	
島根県	(1) ・目で未入力及びエラーの有無が分かる。	○(北海道に同じ) (試用制限外対応)
	(2) ・エラー事由も分かってよい。	○(北海道に同じ) (試用制限外対応)
宇和島市	・エラーの判断箇所が文字と色で分かりやすくなった。	○(北海道に同じ) (試用制限外対応)
高知県	・例えば、集落人口より多い人数を65歳以上人口のセルに入力した場合に、入力箇所が赤くなったうえで、下に解説が出てきて、とてもわかりやすい。	○(北海道に同じ) (試用制限外対応)
長崎県	・不整合箇所がある場合、赤色でエラー表示されるため、整合がとれていない箇所が分かりやすく、確認漏れの発生を防ぐことができる。	○(北海道に同じ) (試用制限外対応)
熊本県	・エクセルより確認しやすい	○(北海道に同じ) (試用制限外対応)
天草市	・一覧で入力状況、更新履歴が確認できること。	
鹿児島県	・県がとりまとめを行う際、調査対象箇所の入力状況の進捗が確認可能となることは、作業進捗の管理としても良い点だと感じた。	
沖縄県	・エラー発生時の入力欄を赤くしエラー事由を表示することにより、入力エラーに気付きやすくなる。	○(北海道に同じ) (試用制限外対応)
水産庁担当	・入力状況一覧でエラーと未入力の区別及び最終更新履歴が表示されているので、状況把握がしやすい。	

漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

2-2 エラーチェック機能及び集計機能(イメージのみ)について

今回の試用システムにより、入力時及び入力後のエラーチェック機能を使用してみて、良かった点、悪かった点、改善すべき点についてお聞かせください。
また、各市町村からの提出状況を確認する集計機能についてもご意見をお聞かせください。

2-2-1 システムを使用してのご意見(悪かった点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	・入力確定前にエラー表示する必要はないのでは？	△
水産庁担当	・入力状況一覧が集落別になっているので、各県の入力状況が確認しづらい。	△

漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

2-2 エラーチェック機能及び集計機能(イメージのみ)について

今回の試用システムにより、入力時及び入力後のエラーチェック機能を使用してみて、良かった点、悪かった点、改善すべき点についてお聞かせください。
また、各市町村からの提出状況を確認する集計機能についてもご意見をお聞かせください。

2-2-1 システムを使用してのご意見(改善すべき点)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	(1) ・エラー表示は入力確定後としてほしい。	△ (2-2-1(悪かった点)北海道と同じ)
	(2) ・漁家比率が50%を超えている場合、設問13は自動的に1位にするか、2位以下と入力した場合、エラー表示すべき	○2-1-2(改善すべき点) 北海道(4)での対応内容と同じ (試用制限外対応)
佐渡市	・エラー内容の表示が上部にあり、エラー箇所によっては画面上でスクロールしないと内容が確認できない。	—
天草市	・×のエラーがある時、どの項目がエラーになるのか分かるとありがたい。	△
水産庁担当	(1) ・エラーチェックの内容に、「漁家世帯数(項目10)≥2」を追加していただきたい。	◎
	(2) ・ログインユーザーが水産庁担当者の場合、「入力状況確認」をクリックしたら最初に県別の入力状況一覧が表示される仕様にさせていただくと、各県のデータ入力状況が一目で把握できるためありがたい。	△ (2-2-1(悪かった点)水産庁担当と同じ)
	(3) また、県別の入力状況一覧からその県の市町村別入力状況、集落別の入力状況が追っていけるようにしてはいかがか。例えば、県別入力状況確認で任意の県名をクリックすると、その県の市町村別の入力状況が表示され、さらに任意の市町村名をクリックすると、その市町村内の集落別の入力状況が表示されるといったようなイメージ。	△ (2-2-1(悪かった点)水産庁担当と同じ)
	(4) ・入力状況一覧でエラーが発生している集落の入力内容を確認する場合、一旦入力状況一覧を閉じてから当該集落を選択する必要があるが、入力状況一覧から当該集落のデータ表示・入力エリアに飛ぶ仕様にしていただくと、この手間が省ける。	△ (天草市と同じ)

漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

2-2-2 データチェックの追加機能
 今回の試用システムによるエラーチェックを行ってみて、データチェックの面から追加してほしい機能をお教えてください。

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
佐渡市	・前年比較による大幅増減	△
島根県	・前回数値と比較して大きく違いがある場合の「要確認」表示機能	△ (佐渡市に同じ)
愛媛県	・前年度との比較が出来るようにしてほしい。	△ (佐渡市に同じ)
宇和島市	・前年データと大きく差が出た箇所の表示がほしい。	△ (佐渡市に同じ)
高知県	・前年度のデータを横に記載してほしい。	△ (佐渡市に同じ)
長崎県	・数式だけでなく、「行政人口」など、過年度から大きく変動し、誤入力の可能性がある項目については、エラーではなく、要確認項目として着色など、誤入力防止対策機能を追加してほしい。	△ (佐渡市に同じ)
鹿児島県	・前年度から大幅な数値の変更があった箇所については、着色が表示されるなどの機能があると、入力しながら前年度からの変化に気がつける。	△ (佐渡市に同じ)
沖縄県	(1) ・入力担当者の氏名及び連絡先等の表示	△
	(2) ・入力状況画面の集落名からの個表へのリンク機能	△ (2-2-1(改善すべき点)天草市に同じ)

漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試用運用へのアンケート調査について

2-3 システムへの追加機能

漁港港勢情報について、今後Webシステム上で、データを集計し分析するとした場合、現状の試用システムに追加してほしい集計機能・分析機能・データ項目などをお教えてください。

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回答	今後の対応
北海道	<p>・現在、北海道では漁港背後集落実態調査の報告にあたり、設問の多くについて市町村や北海道開発建設部に照会し、道の記載箇所と集約して作成しています。 (※漁港単位ではなく、設問により回答する機関が異なります。) この際、報告先である水産庁も含めて、エクセルでフォーマットが共通されていることから比較的、簡易に集約・報告が可能となっています。 本システムを今後どのように運用するかは不明ですが、水産庁・北海道間の報告について、本システムを利用する場合、市町村や北海道開発建設部からの報告内容(エクセル)を北海道が手入力する必要が生じ、作業量が極めて増加します。 (平成28年度調査での調査対象は476地区) このため、現行のエクセルフォーマットをCSV化し、本システムに取り込む機能を追加していただきたいと思えます。 あるいは、道からの照会先である市町村や開発建設部においても本システムを利用可能とする場合、報告内容のチェックを簡易化するため、一覧表による標示・印刷機能の実装をお願いします。</p>	△
佐渡市	(1) ・現在のエクセル形式での一覧出力	○ 2-1-2(改善すべき点)高松市(1)に同じ
	(2) ・現在のエクセル形式での前年比較出力	△ 2-1-2(改善すべき点)高松市(1)に同じ
島根県	・県及び市町村単位での閲覧及び結果(一覧表)の出力機能の追加(過去のデータも)	△ 2-1-2(改善すべき点)高松市(1)に同じ
高松市	・去年データとの比較が分かるようにしてほしい	△ 2-1-2(改善すべき点)高松市(1)、及び 2-1-2(悪かった点)島根県に同じ
愛媛県	・エクセル出力機能が欲しい。	○ 2-1-2(改善すべき点)高松市(1)に同じ
宇和島市	・過年度のデータ集計や出力が出来ないか。	△ 出力は2-1-2(改善すべき点)高松市(1)に同じ 集計は、水産庁担当(1)を参照
	・前年データとの差異の表示がほしい。	△ 2-1-2(改善すべき点)高松市(1)、及び 2-1-2(悪かった点)島根県に同じ
長崎県	<p>・漁業集落排水施設等の整備は、農山漁村地域整備交付金のうち漁業集落環境整備事業を活用し、機能保全計画や施設整備を行なっている。 このうち、漁業集落排水施設整備における採択要件として、「改築の場合は、維持管理が適切に行なわれており、原則として共用開始後7年以上経過」があることから、事業実施の円滑化を図るためにも、「開始年度」及び「終了年度」に加え、「改築年度」をデータ項目として追加したほうがよい。</p>	△
沖縄県	・データ種類メニューに個表を表示できるメニューの追加	△ 2-1-2(改善すべき点)高松市(1)に同じ
水産庁担当	(1) <ul style="list-style-type: none"> ・以下のようなことが可能となる集計機能 ① ある県だけを除いたデータ (例えば、全国集計から岩手県、宮城県、福島県を除いたデータ) ② 集落人口が5,000人以下の集落を抜粋したデータ ③ 65歳以上の人口が50%を超えている集落(項目6/項目5≥50%)を抜粋したデータ ④ 集落世帯数、漁家世帯数、漁業比率を任意の数字で分けた場合のデータ (例えば、集落世帯数を「0~19世帯」、「20~49世帯」、「50~99世帯」、「100~199世帯」、「200~499世帯」、「500~999世帯」、「1000世帯以上」で分けた場合のデータ) 	○
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ・今後実装される集落の追加・削除機能において、追加又は削除した集落の一覧表の作成機能。一覧表の項目は県名、市町村名、漁港名、集落名、追加又は削除の理由。 	△

3 その他 システムへのご意見・ご要望

3-1 今回のWebシステムについてその他ご意見・ご要望をお教えてください。また、実用化に向けて、サーバーの管理（水産庁か水産庁から委託を受けた運営先が管理する予定）やセキュリティ体制などについても、ご意見・ご要望があればお願いします。

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名		回 答	今後の対応
新潟県		・webの通信環境に左右されるため、サーバー不調時などネットが繋がりにくい際に編集作業ができなくなるおそれ	△
島根県	(1)	「入力状況確認」について ・未入力及びエラーの有無の表示だけではなく、該当する項目が分かるようにしてほしい。	△
	(2)	・未入力及びエラーとなっている項目へリンクできるような機能があればよい。	△
愛媛県	(1)	・本県ではセキュリティの問題からインターネット接続が制限されているため、システムに入るまでに時間がかかる。	△
	(2)	・アクセスの権限等はどのようになりますか。 (IDとPWさえ入力すればフリーでアクセス可能？ 同一IDで複数のPCから同時にアクセス可能？)	△
宇和島市	(1)	・セキュリティにおいてLGWANで運用すべきと考える。 (当市の場合、外部接続に制限があり、利用システム起動等に時間等に掛かり支障がある。)	△
	(2)	・オフライン入力が出来ないか。(システム障害時に)	-
高知県	(1)	・県だけでなく、市町村からも記入及び閲覧が可能なシステムであれば望ましい。	△
	(2)	・当県だけでもないが、背後集落調査も港勢調査も委託業務として行っているため、受託業者が入力できるようにしていただきたい。	△ (高知県(1)に併せて記載した)
長崎県	(1)	【港勢調査】 ・港勢調査のデータが「年度」ごとに表示されているが、「年」ごとに表示してほしい。 (例年、港勢調査については、該当年の1月1日から12月31日までのデータを入力している)	◎
	(2)	【港勢調査】 ・長崎県では港勢調査について、各関係市町村に長崎県独自のWEBシステムにログインしてもらい、データを入力してもらっているが、今回のようにシステム化した場合でも当県の各市町村担当者がシステムに同時にログインし、データ入力することは可能なのか。	△ (高知県(1)に同じ。また愛媛県(2)も参照のこと)
	(3)	【港勢調査】 ・複数の市町村がログイン可能となる場合はセキュリティ上、各々異なるID・パスワードを付与することが望ましい。	△ (高知県(1)に同じ)
	(4)	【漁港背後集落調査】 ・「漁家比率」の「自動計算のため、11 漁家比率の入力は不要【注意】」などは、エクセルでの集計における注意点であり、今回システムでは手入力できないような入力規制があるため、不要な文言は削除したほうがよい	○ (試用制限外対応)
沖縄県		・入力状況を把握後に都道府県がチェックする段階で修正は可能か。 (漁港背後集落調査における(1)~2)都道府県内過疎市町村の平均財力指数においては、都道府県ごとに同一数字になるため等)	△ (高知県(1)に同じ)

漁港の港勢調査及び漁港背後集落調査にかかるWEBシステムの試行運用へのアンケート調査について

3-2 その他(自由意見)

<今後の対応=◎:今年度修正、○:要修正、△:運用方法・仕様検討、□:機能追加>

都道府県名	回 答	今後の対応
北海道	・北海道独自の問題ではありますが、北海道ではネットワークのセキュリティ向上のため、インターネットを利用する際、仮想デスクトップを経由して接続しております。 この接続には1時間の時間制限があり、入力中であっても1時間経過すると強制的に切断されてしまいます。 このため、WEB接続されていなくてもスタンドアロンで入力作業を可能にするか、CSVなどで一括して入力できるような機能の追加をお願いします。	△
神奈川県	・ユーザー名、パスワードは県ごとに付与されるのか、又は漁港管理者ごとに付与されるのか。また、権限設定はどうなるのか。	△ (3-1 高知県(1)に同じ)
三浦市	・漁港の港勢調査で三浦市の場合北下浦漁港について、漁港管理者である横須賀市とID・パスワードを共有するのですか。	△ (3-1 高知県(1)に同じ)
高松市	・漁業協同組合がアクセスして、直接入力できるようにしてほしい。	△ (3-1 高知県(1)に同じ)
宇和島市	(1) ・省庁間でのデータ共有をお願いしたい、同様の調査物等の削減依頼。 (職員減に伴う省力化への要望)	△
	(2) ・システム化による目に見える省力化	-
長崎県	(1) 【港勢調査】 ・平成28年度(2016年度)について記載するよう指示があったが、2014年度までしか表示されなかったため、今回は新規入力していない。(2014入力済み分を確認)	○ (試用制限外対応)
	(2) 【港勢調査】 ・1-1-1 現在の問題点にも記載しているが、長崎県では港勢調査について、独自のWEBシステムを運用し、データ入力を行っている。 ・港勢調査業務を各関係市町村に権限委譲しているため、県管理漁港も含めた漁港のデータについて各市町が入力。 ・システムに入力されたデータを県で一括してテキストデータとして出力したのちにエクセルに読み込ませて内容を確認。 (エクセルへのデータ出力は各市町からも可能) ・エラーチェック後、水産庁あてテキストデータを提出 ※当県のシステムでもエラーチェック機能あり (エラー表示については、エクセル入力フォームと同様) ・長崎県のシステムでは、各関係市町村がログインし、データ入力ができる外部公開サイトと、管理者のみ(長崎県)がログイン可能で、データ入力の期限設定、各漁港の情報について修正や県内全漁港のデータを取りまとめることが可能な内部サイトの2種類がある。 ただし、外部サイトでは過去に入力したデータを確認することはできない。	-
熊本県	(1) ・まとめて印刷できる機能が欲しい(県内すべてや市町ごと)。	△
	(2) ・県内漁港のデータを一覧表で出力する機能が欲しい。	○
	(3) ・大きく数値が変わっている箇所を把握するため過年度との比較を行う機能が欲しい。	△
沖縄県	・漁港背後集落調査については、県管理漁港についても、市町村へ依頼し市町村担当者が入力するため市町村担当者へ同様のアンケート調査を実施してほしい(してない場合)。	他県で実施